京城日報
朝刊　本日朝夕刊共六頁

【社説】朝鮮經濟を見直せ

一

東亞經濟懇談會主催の東亞經濟朝鮮懇談會なるものが、廿五六の両日京城で、内鮮滿支蒙の關係有力官民約三百名參集の下に朝鮮經濟の大東亞共榮圏建設への協力方策につき懇談する。懇談會の目的は文字通りの懇談であつて、その結論は期待し得る性質のものではないかもしれぬが、何しろ各方面の朝鮮經濟に直接關係ある有識者が一堂に會して懇談することであり、その間、傾聽すべき意見も相當にあらうといふもので、その我我の期待を繋ぐ所以であるが、何よりもまづこの懇談會の成果が朝鮮經濟再編に一つの刺戟となれば、それに越したことはないと思ふのである。

二

南方圏に於ける經濟建設が着々として進捗してゐる今日、その南方圏に對する北方圏の經濟が大東亞共榮圏建設の大きな線に沿つて再編、急速に具體化されねばならぬこと勿論である。その北方圏の有力なる一環をなす朝鮮の凡ゆる産業部面において、事實、新しき構想の下に於ける建設や再編成が行はれてゐるのであるが、なほこの朝鮮の必死の努力に對して、外部の眼に聊か冷淡なるものを感ぜられる點がなしとしないやうに思ふ。昔のことはいざしらず、最近の朝鮮は内地本土を中心とする國内經濟の全日本的統制に對しては非常に協力的となつてゐることは事實だ。鮮滿問題にしても、その他重要産業に於ける統制會的内外地一元化に對しても著るしく大乘的となつてゐるはずである。また滿洲、北支の所謂北方圏内における物資の交流についても同じことがいへる。この朝鮮の新しき努力は、とりもなほさず、大東亞共榮圏建設への協力態度を示すものである。

三

しかし反面においてこの朝鮮の顯期的な共榮的努力に對して内地及び滿洲、北支は朝鮮のそれに相應するほど協力的ではない。それは數々の事例を以つて證明することが出來るのであるが、我々はその責任のみを追求せんとするものではない。我々の要求せんとするのは今後の朝鮮經濟の特殊性格と地位を眞に認識して、極力これを助成援助して貰ひたいといふことである。

何が故に朝鮮經濟が特殊の使命をもち、特殊の地位にたつかといふことについては最早や我々は主張し過ぎるほど主張してゐるので、再びここに繰返へさうとは思はぬが、今回のこのやうな懇談會にはまづ朝鮮の言はんとする主張をきいて貰ひ度いと思ふ。

四

朝鮮の産業經濟の性格は著しく大陸的であつて、その目的は大陸政策的である。しかし實際上朝鮮の受ける政治的、經濟的の要求は内地的である。即ち大陸であつて大陸でなく、しかも内地的でないといふ複雜した性格が朝鮮にある。これはひとり經濟のみにおいての特殊性格でなく、凡ゆる部面においてさうである。そこに朝鮮としての苦心がある。今回の東亞經濟懇談會が朝鮮經濟の發展方策について懇談しようとするならば、少くとも上述のやうな朝鮮に對する好意ある心構へをまづもつて用意して欲しいと思ふのである。

靖國神社臨時大祭　新祭神一萬五千餘柱　合祀者發表さる

前田中將以下

【東京電話】大東亞戰爭下に一しほ意義深く迎へる靖國神社秋の臨時大祭は來る十月十四日の招魂式に引續き同十五日から廿日までの六日間臨時大祭委員長山田乙三大將以下奉仕の下に燦たる九段の神域で嚴かに執り行はれるが、今回護國の神として新たに合祀される英魂についてはかねて陸海軍両當局から上奏手續中のところ、このほど御裁可あらせられ合祀仰出されたので、廿二日兩當局からその氏名が發表された、新たに祭神の列に加はる殉忠の英魂は滿洲事變及び支那事變に戰死、戰病死を遂げた陸海軍々人及び軍屬で陸軍側一萬四千七百十九柱、海軍側三百二柱、合計一萬五千廿一柱に上つてゐる、そのうち陸軍側は滿洲事變關係の合祀者稻見克己大佐以下百廿九柱、同特別合祀者富永隆一大佐以下六百卅二柱、支那事變關係の合祀者は安部克巳少將以下一萬四百六十柱、同特別合祀者は前田治中將以下三千四百九十柱、又海軍側は合祀小谷進三海軍中佐以下百五十八名、特別合祀中村剛海軍々醫大尉以下百四十四名である、安部克巳少將は昭和十四年八月二日ノモンハン附近の戰鬪において敵戰鬪機十三機と戰鬪中敵彈をうけて戰死、前田中將は北支の廣大なる地域にわたり兵團長として警備作戰中不幸病魔に斃れたものであり、そのほか昭和十四年九月廿九日河北省懷來縣附近において〇〇部隊長として奮戰中、壯烈なる戰死を遂げた田中省三郎少將も含まれてゐる、軍屬としては東久邇宮盛厚王殿下に御陪從申上げノモンハンで戰鬪中戰死した式部官兼陸軍屬岡部仁三郎氏をはじめ、鐵道省關係者五名、北滿道關係者一名、從軍看護婦三名、陸軍看護婦一名半島出身の二通譯など四十名である、今春までに護國の神として靖國神社に合祀された祭神は二十三萬八千八百六柱で、秋の第六十一回臨時大祭に合祀される新祭神を加へれば總祭神は實に二十五萬三千八百二十七柱の多きに上るわけで、皇恩の遍きに民草一際は感泣、いよ〳〵御奉公の決意を固くし大東亞戰爭完遂に邁進を誓ひ奉るのである、なほ臨時大祭委員においては有難き思召を奉し直ちに各遺族に對し合祀通知ならびに參列案内狀の發送に着手した

半島關係七十一柱

來る十月靖國神社臨時大祭に新に合祀せらるる朝鮮關係の英靈は次の七十一柱である（括弧内は遺族現住所）

京城府
土井春生曹長（本町四ノ四八）　鈴木朝東上等兵（三坂通一四ノ九）　田立寵伍長（三坂通三五八）　川原享上等兵（齊藤町三ノ四〇）　竹原節兵伍長（櫻井町二ノ一九二）　吉米地歡三伍長（岡崎町五）　窪田次郎中尉（松月町一）　金本忠雄上等兵（大和町一ノ一〇）　吉野淳一上等兵（黃金町三ノ二二）　北本正曹長（光熙町一ノ三〇二）　西内久明大尉（元町一ノ三〇）　伊藤寅三中尉（本町二ノ一一）　春日井孫三郎准尉（初音町一三五）　渡邊良德准尉（瑞穗町四三）

仁川府
彌長三郎伍長（仁川府新町一七）　諏訪又夫中尉（同　濱町三四）　成田順二伍長（同仲町二ノ一一）

京畿道
内藤滿敬上等兵（議政府里一五八）　朴仁徹傭人（始興郡[illegible]里一七〇）

忠淸北道
大町勇上等兵（永同郡永同面稽山里）　磯貝秀雄同（大田府榮町一ノ三三二）　中川明信同（同榮町二ノ三六八）　曹桐秀彥同（同春日町一ノ二九）　安村淑治同（公州邑[illegible]町二七四）　山下政之伍長（瑞山郡瑞山面邑内里一七一）

全羅北道
島田繁上等兵（群山府東榮町六四）　佐藤武軍曹（金堤郡月村面月峰里六三）　敦行烈一上等兵（同金堤邑新豐里九二）　政春明浩同（裡里邑榮町一ノ一〇一）　大森敏同（同馬場町三ノ一九）　井城義之助同（裡里邑二）

全羅南道
國田勳同（光州府瑞石町）　鹽見恭正同（麗水邑東町大一二五）　都田晴夫同（和順郡和順面訓里四六ノ二）　内田藤八同（長興郡長興邑本町三）　時政俊次伍長（羅州郡榮山浦邑）　寺尾叔治上等兵（羅州郡榮山面東小里）　村井義夫大尉（木浦府前町三〇）　小林衛志中尉（同幸町二四）　森正勝大尉（同新町三八）　松村為三同（同東本町五五）　中山隆夫軍曹（同東雲町四七四）　幸原弘円上等兵（同南橋町一六）　石井良澄伍長（義城郡安溪面龍洞八四二）　木内雄上等兵（迎日郡滑州面九龍浦）　石井勝通譯（漆谷郡北三面仁坪洞三二二）　元永寅男曹長（尙州郡功城面山玄洞一四六）

慶尙南道
松本正夫上等兵（釜山府富平町一ノ五〇）　桑木健太郎同（同水晶町八〇四）　大島正大尉（同南濱町一ノ四二）　江藤愼一上等兵（同二坊町一ノ四〇）　堀川正敏同（同西新町二ノ一二六）　笹間史郎伍長（同大新町一〇〇八）　高木友一上等兵（同大淵里一五一七ノ四）　岩野勝伍長（東萊郡南面望美里六三七）　西龜男上等兵（金海郡大渚面沙德里三三二）　田村敏夫大尉（鎭海邑慶和里[illegible]六）

黃海道
淸水憲一上等兵（海州府北本町一四）

平安南道
土師的伍長（平壤府若松町二一四）　大田國夫上等兵（鎭南浦府[illegible]町）　岡田毅伍長（新義州榮町四ノ一）　古津渡上等兵（同縣町二四）

平安北道
金相弼通譯（博川郡[illegible]洞六六三）　桂川東哲同（宣川郡[illegible]四二七）　中村義郎曹長（鐵山郡站面東部洞九二）

江原道
蓮子田稔曹長（春川邑昭陽通四ノ一一三）

咸鏡南道
梅原輿子看護婦（元山府幸町九）　田畑春雄上等兵（咸興府軍營通一〇六）　下村義雄同（興南邑朝興社宅ノ三）　小先行人同（端川郡北斗日面金山）

咸鏡北道
門嶋庄三一上等兵（淸津府東海岸日之出町）

噫、空の軍神加藤少將　きのふ盛大に陸軍葬執行

【東京電話】一億國民の捧げる盡きぬ感謝と哀悼のうちに不世出の神鷲と仰がれる『空の軍神』加藤建夫少將の英魂を送る陸軍葬は廿二日午後二時から築地本願寺で佛式により嚴かに執り行はれた

この日午後零時廿分軍神の英魂を安置せる中野區鷺の宮の自宅ではけふぞ神と鎭まる感激に涙する喪服の母堂キミ刀自、田鶴子未亡人、遺兒正昭君、進英君、雄三君らは玄關右脇四疊の間の祭壇に掲げられた軍神の英姿の前にひれ伏して新たな感激を告げる時、僧侶の出棺を告げる鐘の響きと讀經の音が綿深い秋の氣に觸れて縷々立上る線香の香煙と共に戸外へ流れる、玄關先の細道に喪服に身を包んで英魂を送る鷺の宮二丁目隣組、町會、婦人會、在郷軍人會第七分會員の整列する前を、やがて遺體に續いて軍神の遺愛、遺爪の箱を抱いた喪主長男正昭君が航空本部の奧田中尉に、次男進英君は田鶴子未亡人に、三男雄三君は母堂キミ刀自に伴はれて鷺の宮通に待つ三台の自動車に分乘、かくて英魂は戸毎に日の丸の弔旗を掲げて盡きぬ哀悼の意を表する鷺の宮の沿道両側に蜿蜒長蛇に堵列する警防團員、在郷軍人會々員、男女中等學校、國民學校全生徒、兒童など約一萬五千の弔送者に送られて靜かに一路式場築地本願寺へと向つた

黒白の幔幕が張りめぐらされた莊嚴の式場築地本願寺では加藤家の親族、軍神の實姉大須賀貞さん、旭川から上京した叔父藤田長次郎夫妻、甥の藤田國道、同貞一兩氏、義兄加藤一氏、田鶴子未亡人の義兄蕣玉大佐夫妻はじめ東旭川村々長、旭川市婦人會員など三十餘名が靈柩車の來るのを待つうちに、やがて午後一時半、奧田中尉に擁持された靈柩車が到着、東部第二部隊吉村中佐指揮の儀仗兵一ケ大隊がこれを迎へる、式場の南側中央に設けられた祭壇に安置された靈柩の左右には畏くも賀陽宮、東久邇宮家からの生花の供花二對をはじめ、參謀總長、總理大臣、陸海軍大臣以下各閣僚、徐中華、李滿洲國両大使外各階から贈られた秋の七草を盛つた供花四十五對が飾られ『故陸軍少將從四位勳五等功四級加藤建夫』と墨痕も新たな靈前には在りし日の軍神の寫眞が嚴かに置かれてある

この日畏き邊りから幣帛と祭粢料下賜の御沙汰あらせられて神鷲の勳を偲ぶ盛儀は一しほ光榮に輝く、午後一時五十五分、祭壇の向つて右側にはけふの喪主陸軍航空士官學校長木下敏中將はじめ長男正昭君、未亡人田鶴子さん、次男進英君、三男雄三君、母堂キミ刀自の順で着席、葬儀委員長の航空總監部總務部長河邊虎四郎中將その他遺族、近親者、在京各陸海軍部隊代表が居並び右側には各宗教團代表、東條首相、木戸内大臣、松平宮相、湯澤内相、嶋田海相、小泉厚相、寺島遞相、青木國務相ら各閣僚はじめ永野軍令部總長、蓮沼侍從武官長、その他李滿洲國大使はじめ樞軸各國武官および靖國の母の會、大日本婦人會、在郷軍人會などの各種團體代表者およそ五百名が着席、この時哀しみの五點鐘が鳴り響けば場内には一段と嚴肅な氣が漲り、莊重な誄樂の音が奏でられると、西本願寺大導師大谷光照法主が諸衆十六名を隨へて入堂すれば、儀仗兵の『吹きなす喇叭』が嫋々と吹奏される

二時十五分一同起立のうちに賀陽宮家御差遣の御代香あり、續いて弔辭に移り、杉山參謀總長、山田教育總監、東條陸相、土肥原航空總監、士官學校同期生代表田中中佐の順で切々哀悼の意を吐露し、東條陸相の部下思ひの切々たる追悼の言は會葬者の肺腑を衝き讀み終へた航空本部の奧田中尉から寺内南方方面陸軍最高指揮官、陸軍航空部隊司令官及び南方方面各部隊長から寄せられた弔電、ゲーリング獨大元帥からの弔電に續きイタリー參謀總長カバレエル元帥からの弔電朗讀があり、讀經裡に喪主木下中將の燒香に次いで豐島師範附屬の制服姿の長男正昭君、次男進英君の手をとつて共に燒香する田鶴子未亡人、三男雄三君を抱くやうにして靈前に進む母堂キミ刀自の姿は一しほ會葬者の目を引く

折から儀仗兵の『吹きなす喇叭』の咽叫と三發の弔銃齊射が轟き、續いて會葬者一同の燒香に移り續いで一般市民の告別式が行はれ、軍神に遺德を讚仰する人々の燒香は引きも切らず、八田鐵相、橋田文相、安藤翼贊會副總裁、谷外相も一般燒香者の群に混つて見られ同四時三十分告別式を終り神鷲の英魂を送る陸軍葬の盛儀はこゝに滯りなく終了した

東條陸相弔詞

維時昭和十七年九月廿二日清酌庶羞の奠を上げ、敬んで故陸軍少將加藤建夫君の靈に告ぐ

君は十六年大東亞戰爭の勃發するや劈頭の一戰、進んで惡天候を冒し敵機を擊墜すること算なく、わが馬來先遣兵團の渡洋を掩護し敢然として敵地飛行場に着陸し進んで敵航空基地を攻擊せり、八以て壯烈鬼神を驚かしむとなす、翌十七年二月、君パレンバン急襲の落下傘部隊を掩護するの命を受くるや、即時寡兵を提げて長驅之に赴き敵中に突進して優勢なる空中並に地上の敵部隊を顧みず邀削して勇戰し以て當面の戰鬪を全からしむ

尋で今村兵團の瓜哇作戰を開始するや、君亦縱横に活躍し以てその進軍を容易ならしめ、更に偉功を加ふ、後、緬甸に轉戰し五月二十二日アキヤブ飛行場に抵りて敵機の來襲を知るや直ちに立つて敢然攻擊を加へ、これを海上に猛攻して敵機を海中に擊墜せり、然るに天なる哉、是の時君の機も亦火焔を吐く、君從容として迫らず、徐ろに計劃を定めて驀地に海中に突入し以て壯烈無比なる自爆を決行せり、男しき哉、我が飛行隊の明星はこの如くにして海洋の波心に隕ちたり、報を傳へて全軍寂として聲なく齊しく君の爲に深甚なる哀悼を捧げて勇氣愈よ百倍せり

惜しむべき哉、今や大東亞戰爭は、御稜威の下、連戰連捷の成果を收め、皇澤南圏に遍しと雖も永遠なる平和の確立は前途猶ほ遼遠なるものある時、空中勢力の優越更に其の切要なるを思へば君の如き空軍の英傑に俟つ所今後益々大なるものあるを、君は乃ち飄乎として去つて復た返らず、嗚呼哀しい哉

然りと雖も君は素より忠誠國に許し、榮辱を超え、一に空中の報效を以て自己の天職と爲せり、加ふるにその操縱の技術に至つては實にその蘊奧を究め身機一如、一にして二ならざるの妙を得、その敵に臨むや完爲比なし、指揮の用意亦周到にして常に寡を以て能く衆を制し、進取無礙、衆は推すに名將を以てせり

是を以てその感狀を授與せらるる事實に七回に及び、その敵機を擊墜する事無慮百數十機におよぶ宜べなる哉、君が拔群の戰功は畏くも天聽に達し特旨を以て官二級を進めらる、武人の恩榮、一門の光譽、豈之に過ぐるものあらんや舉國是を以て齊しく君の勳功を傳稱し、君の勇猛を欽慕し仰いで軍神となす、君たる者以て瞑すべきなり

米英へ迫る城下の盟ひ

わが無敵潜水艦の米大陸砲擊行

滴たる海水、飛ぶ巨彈　急速浮上砲戰、瞬時の神技

【〇〇基地にて平井海軍報道班員廿二日發】わが潜水艦の擊込む米大陸砲擊の巨彈こそ米朝野の恐怖の的であり、米英城下の盟ひの先觸れといふべきで、再び聞く砲擊の快報は相つぐ戰果にひときは生彩を添へたものであつた、去る二月廿四日カリフオルニヤ州沿岸を砲擊して米國民を戰慄の坩堝にたゝきつけて以來、頭を轉じてインド洋に濠洲にあるひはアリユーシヤンに猛威を逞しくしたわが潜水艦は六月廿一、二の両日にわたり再び暖波四千五百浬、太平洋の海底をくゞり第二回米大陸砲擊大潜行を敢行してカナダ西岸バンクーバー島および米オレゴン州アストリヤの両重要軍事施設に猛擊を浴せたのであつた、いまやわが無敵潜水艦は全く掩ひつくし、連續的商船の擊沈とゝもに米英の足搔きは、いや増しに高潮されてゆく、あらゆる艱難辛苦を嚙みしめつつ不敵の潜水艦魂を發揮して米大陸を奇襲した砲擊潜行部隊、戰ふ潜水艦男七の誇る戰果に米英戰擾の聲を聞かう

首途の血祭りに貨物船

艦は東へ、東へ——太陽を見ぬ毎日ながら朝食をとるたびに日增しに目指す米大陸に近づく喜びは言はず語らずのうちに顏に現れてくる、靡い太平洋もいまやわが日本の内海となつた、しばらく御無沙汰した米大陸砲擊のお見舞に出掛けるのだ、まづ砲擊の除役である、逆潜領をはじめたのが〇月〇日のことであつた、米、カナダの中間フアンデフカ海峽の出口へ潜みよつたわれわれの前へ、中型貨物船（六千トン級）が、こゝは『おらが天下』とばかりに悠々と姿を現した、今度の行動の初獲物だ、はるばる太平洋の怒濤を越えて抱いてきた魚雷にものをいはせるときがきた、距離〇〇メートル『發射はじめ』の艦長の聲が全艦に響き亙る、敵船の胴腹深く狙ひ定めた魚雷はしぶきをあげて突進してゆく、嚴然な〇秒、ドンと命中した、その瞬間艦内には思はず乗員の拍手が沸き起つた、潜望鏡を覗く艦長の顏に會心の笑が迸る、機關部に命中した敵船はたちまち右に大傾斜し、後部から波間に呑まれて行つた、沈みゆく貨物船からはボートが二隻降され逃走してゆく姿が惡れにも潜望鏡に映る

さらに大型商船を屠る

數日して僚艦飛行艇に護られた油槽船を發見した、これも前夜の貨物船と同じく、艦が一定の円を描いて走り、飛行艇は飛來り飛去るといふ恐らく前歐洲大戰にドイツ潜水艦が悩まされた商船の再現であつて、わが無敵潜水艦を目指したものであつたが、そんな小細工に引つかゝるやうなわれわれではない、前夜の商船撃沈の實戰はかうである、四千トン級商船を追跡中であつたわれ〳〵の後から六千トン級の商船が地獄の入口も知らずに迫ひかけて來た、二兎を追ふものは一兎をも得ずの、諺を思ひ獲物の大きな後の商船を待構へ魚雷の、發射の準備を整へた、距離〇〇、魚雷は見事なつしと敵艦の眞下に命中し水柱は夜目にも白く天に沖した、恐ろしいほどの勢で敵船の甲板上には懐中電燈が右往左往してボートが下されはじめたが、往生際の惡い敵はなか〳〵沈没しさうもないので、直ちにわが正確な砲擊だ、やがて懐中電燈の消えた頃には巨船は海底深く姿を消し去つた

米大陸へ二度目の巨彈

商船を血祭りにあげたわれ〳〵ではいよ〳〵第二回米大陸砲擊の壯擧に向ふ胸の血潮を沸らせたのであつた、六月廿一日、カナダの要衝バンクーバー島は飛行艇、陸上機の絶え間なき哨戒に固く守られてゐたがわれ〳〵の偵察はひたむきにつゞけられた、白晝公然と敵本陣の嚴重な監視の中で、群る敵眼との一騎打がただ一つの潜望鏡によつて敢然と行はれたのだ、豪膽なつた艦長はひそかに潜望鏡を出して射手に覗かせた、浮き上れば急速浮上砲戰だからほんの僅かのどぢを踏んでも失敗に終るのだ『あそこを射つのだ』と教へる艦長も眞劍なら、覗く射手も眞劍だ、今晩を見よとばかりに射手の目は潜望鏡から離れようともしない、遂に日は暮れた、わが潜水艦が來てゐるとは夢にも知らぬバンクーバー島の夜は煌々と明るく空を焦いてゐる『砲戰用意』の號令一下、艦は浮上した、猿のやうにハッチから飛び出した射手は未だ海水の滴る大砲に飛びつくと見るや、忽ちにして靜寂を破る初彈は火を吐いた、目指すはエンテヘン潜軍無線電信所である、二發三發と續くと電信員が『SOSを打つてゐます』と屆けて來た、漸く敵襲に氣がついて市街の灯りな消えた、バンクーバー島は大混亂を呈してゐることだらう、無線電信所に巨彈を浴びせて所期の目的を達した以上長居は無用、すでに破壞されたと見えSOSの發信も絶えた無線電信所を後に闇にまぎれてわれ〳〵は沖に去つたのである

續いてアストリヤ砲擊

カナダ砲擊につゞきわが豪膽な砲擊は米國に對して加へられた。オレゴン州コロンビヤ河下流のアストリヤに偵察のために浮上つて見ると驚いたことには漁船の一杯群る中へ出てしまつた、幸ひに氣付かれず地形を呑込んだ、明くれば六月廿二日、こゝは敵潜水艦と驅逐艦の基地だけに全くの隱密行動であつたが、アストリヤの〇〇メートルまで近寄つて艦は浮上つた、砲身は月に映えて夜空に吼えた、初彈は物凄い唸りを生じて飛んで行つた、射手の動作は目にも止らぬ速さで相次いで巨彈の洗禮を見舞ひ飛行場へ〇〇發、停車場へ〇〇發、海軍無線電信所へ〇〇發と軍事施設を粉碎し去つたのである、この間僅かに〇分、折柄わが砲擊を知つた敵は防空警報のサイレンを鳴らしはじめたが、その時にはわれ〳〵はすでに悠々と沖に待避してゐた、周章狼狽した敵はわが艦の去つた後盲目砲擊をする醜態を演じ、遂に米太平洋西岸陸軍防衛司令部が『日本潜水艦は二回にわたつて砲擊した』と發表する狼狽ぶりであつた

內相奏上

【東京電話】湯澤内相は廿二日午後四時十五分參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ廿一日夕より廿二日早朝へかけ四國近畿地方、東海道方面を襲つた暴風雨の被害狀況につき奏上後、恐懼極めて叡慮の程を拜察のうへ同四時四十五分宮中を退下した

軍政は第二段階　兒玉陸軍顧問入京談

【東京電話】陸軍顧問兒玉秀雄伯は赴任後半年振りに二十二日午後空路入京牛込の自邸に入つたが病後とも思はれぬ頗る元氣な面持で『上京するつもりではなかつたが司令官から軍政の狀況報告のため上京するやうにとの勸めだつたので』と前提し現地の狀況に關し左の如く語つた

ジヤワをはじめスマトラ、ボルネオ、セレベスなど一通りは觀察したが、今や軍政もだん〳〵と整備され最近では現地における中央ならびに地方の各機構も漸次完成され、これら機關に携る文官もすでに赴任し、軍政は全く第二期に入つて部隊長の軍政から、文官知事の統治へと移行される實情にある、これこそ軍政の一大飛躍發展といふべきでこれにともなひ銀行家をはじめ各種の事業家などそれ〴〵の仕事をするやうになつた、自分は去る三月出發の際、潰滅せる蘭印の政治を如何にして恢復すべきかを苦慮してゐたが現地に行つて見て政治の運用のよく行屆いてゐたのを見て全く夢のやうな氣がした、赴任後現地の人から聞いたことであるが、日本軍の上陸後インドネシヤ人にして蘭人を助けた者はたゞの一人もなく、五千萬の民衆は悉く日本軍に協力したといつてゐるほどで、これら五千萬のインドネシヤ人は理窟なしに親日的な傾向を示し、いづれも日本を指導者とした大亞細亞の誇りある一員として東亞共榮圏の建設に協力の實を示してゐるので、現地にあつては今までのやうなヨーロツパ的な色彩は微塵も見られない

宛らに地獄繪卷　ス市燒野ケ原と化す

【リスボン二十一日同盟】ロイター通信モスコー特派員はスターリングラード戰の狀況につき二十一日つぎの如く報じてゐる

チモシェンコ元帥麾下の赤軍は荒廢に歸したスターリングラード市街の各所で寸土を繞つて獨軍と死鬪を展開中で、獨軍はボルガ河畔五十キロの線に横はる同市を蟻の這ひ出る隙もなく蜿々と取巻いてゐる、市内各所から炎々と燃えあがる火の手はぐん〳〵と渦引く暗煙が暗黒色に染め夜ともなれば、數十キロ離れたところからはつきりと望見出來、見るものをして肌に粟を生ぜしめる地獄繪卷を現出してゐる、市内は砲彈の破片、倒壞した家屋の殘骸で足の踏込み場もなくほんの數週間前迄は全市の工場が晝夜兼行で動いてゐたのにけふはモーターの回轉もぴたりと止まり男子は老も若きも手に銃をとつて市街戰に挺身參加してゐる、獨軍が赤軍の攻擊を遂に沈默せしめた時その手中に入るものは完全な燒の原と化したスターリングラードの廢墟にほかならぬであらう

海軍合同葬

【横須賀電話】大東亞戰爭に不滅の武勳を樹て護國の華と散つた海の英靈〇〇柱の海軍合同葬は廿二日午後一時から横須賀鎭守府大會議室で海相代理及川大將、平田鎭守府司令長官以下將兵、各遺族多數參列のうへ佛式により嚴かに執行されたが、朝鮮關係の戰歿者氏名は左の通り

朝鮮慶北盈德郡江口面　中尉　岡田一雄

人

◇堀内一雄氏（衆議院議員）滿洲國よりの歸途廿二日午前十一時十八分着京城半島ホテルへ、廿三日『あかつき』にて離城豫定
◇竹中新太郎氏（[illegible]社長）廿五日午後十一時廿分東上
◇東郷實氏（代議士）廿二日『あかつき』で入城朝鮮ホテル

本日『北居南面』第二面に掲載

（第三種郵便物認可）　第一万二千五百四十號

答訪使節團南京入り
東亞新秩序確立に一段と飛躍

【東京電話】去る十七日東京を出發した平沼、有田、永井三氏を首班とする國民政府答禮特派使節團は豫定の如く廿二日午後南京に到着した、右につき廿二日外務省から左の如く發表された

外務省發表（二十二日午後五時半） 國民政府に對する答訪使節團は豫定通り本二十二日午後南京に到着せり

【南京廿二日同盟】長き遣りの國書を奉じて友邦國民政府に答訪の重責をになふ平沼、有田、永井三特派大使以下答訪使節團は廿二日午後二時三十分上海より特別列車にて南京驛に到着、秋晴なる首都南京に晴れの第一歩を印した

【上海廿二日同盟】南京入りを控へて來滬第一夜をアスタ・ハウスに明かした答訪使節一行は廿一日午前十時上海神社に參拜、つゞいて同十時半海軍表忠塔および海軍墓地に參拜、恭しく花輪を供進して、海軍の英靈に默禱を捧げ同十一時宿舍アスター・ハウスに歸還、午後七時から堀内公使主催の非公式招宴に臨んだ、廿二日午前八時答訪使節一行は宿舍を出發いよく晴れの南京入りをすべく上海驛へ向ひ驛頭で大野特別陸戰隊司令官、永津上海特務機關長、太田興亞院華中連絡部長官、各機關代表者多數の盛大な見送り裡に同八時卅分特急天馬で一路南京への途についた

遣唐使以來の盛儀
日華國交史上に不滅の一頁

【南京廿二日同盟】大東亞戰爭の戰果赫々として輝く時重大使命を擔つて去る廿日羽田飛行場より上海に空路來華した平沼、有田、永井三特派大使以下答訪使節一行は廿二日午後上海より南京驛着、晴れの首都入りをなした、畏き國書を捧げて使ひしたる答訪使節今回の來華こそ日華國交史上曠古の盛儀であり、兩國關係の緊密化、大東亞諸國の連繫を促進する極めて重要な意義を有するものとして大東亞共榮圈建設の途上特筆すべき大事である、すなはちわが答訪使節の來華は往古の遣唐使以來はじめてのことであり、日華國交史に不滅の光彩を添へるのみならず、基本關係條約により確固不動の基礎に立てる日華兩國の親善關係ならびに東西樞軸國の緊密關係がこれは[illegible]强固なる紐帶をもつて結合せられるに至つたことにほかならず、延いては東亞共榮圈內に新秩序の確立に對して蹶起しつゝある大東亞諸民族に對しがこゝに飛躍的に歩を進めるに至つたことの二點にあり、このことは同時に米英蔣の作戰に相携へて[illegible]する總進軍の大號令とも稱すべくこれが重慶政權に與へる打擊および共榮圈內諸民族に及ぼす影響はけだし想像に餘りあるものがある

南京着の三使節
汪主席と感激の握手

【南京廿二日同盟】さる十七日光榮と重責を擔つて帝都を出發廿日羽田より空路上海に到着、同地に二夜を明かした平沼騏一郎男、有田八郎、永井柳太郎の三特派大使および吉澤隨員一行廿五名は上海まで出迎へた國民政府外交部長褚民誼氏、大使館日高公使並に東京より同行した駐日大使徐良氏などの案內にて廿二日午前八時卅分上海を出發、爽秋の江南の野を走ること五時間、午後二時三十分南京驛に到着、歡喜の答訪の晴れの首都入りをなした、驛前には汪國民政府側代表、重光大使、中華民國政府主席代理陳公博氏をはじめ法院長溫宗堯、內政部長、各代表、松[illegible]日本軍側より各代表、軍事顧問その外、日本居留民の各代表をはじめ、獨、伊、滿、タイ國、スターマー獨、タリアニ伊各大使ら百十名が威儀を正して整列出迎へれば、帝國使節一行を乘せた特別列車は、靜々とホームに滑るが如く到着、一瞬緊張の氣漲る中を平沼男を先頭に有田、永井三特派大使は特別列車より順次ホームに降り立ち他の隨員もこれに從つて下車、三特派大使はまづ出迎への重光大使より歡迎の挨拶をうけたのち主席代理陳公博氏に褚外交部長の紹介にて會見、汪主席より懇切なる歡迎の挨拶をうけたのちそれぞれ感激の握手を交した、ついで三特使は滿、獨、伊各國大使ならびに各院長と順次褚外交部長の紹介で握手をなし、つゞいて重光大使から河邊總參謀長以下日本側代表を順次紹介その他の出迎者に會釋をなしつゝ眞船南京驛長の先導にホームより驛玄關に歩を運び同二時四十五分國民政府差廻しの自動車に乘車、平沼特使には接待委員長褚民誼、有田特使には同委員陳群、永井特使には同委員林柏生の各氏がそれぞれ同乘、自動車をつらねて迎賓館に向ひ沿道に堵列する三萬五千の中國側歡迎者がうちふる日華兩國旗の波に迎へられて同五十五分迎賓館に到着、こゝに輝く首都入りを終つた

上り漁鰮期不振
さんま漁撈への轉換が主因

鮮內の上り鰮漁期は九月末をもつて始め十月からはいよく本格的下り鰮の漁撈に移行、咸北から始まり盛漁期に入ることになつた、上りの漁況は不振で九月中の始めは前年廿四萬樽に對し現在のところ一萬樽程度にすぎない、この原因は

一、刺網業者が資材消費の少くてすむさんま漁撈に轉換したこと

一、天候不良のため漁群の回游が極少であつたこと

一、資材節約と漁撈統制で上り鰮の活動が規正されたこと

の三點であつた、その內さんま漁撈への轉換が主因をなしてゐるとみられるが、このためさんまの漁獲高は四日から八日まで約二百四十萬円に達し、前年の廿萬円に比すれば著るしい激增をみせてこれを反映したこの鰮からさんまへの轉換が注目されるものであることを示した

獨軍戰況發表

【ベルリン廿一日同盟】獨軍司令部廿一日發表

東部戰線 一、獨軍はスターリングラード市內の隨所に於て增援兵力を得て死もの狂ひの抵抗を試みる赤軍と猛烈なる市街戰を展開中である赤軍は獨軍陣地の爲同市北部の、獨軍陣地に對し反復攻擊を加へ來つたが獨軍は損害を與へてこれを擊退した

一、テリヨク戰線の獨軍は[illegible]機密原を突破して激戰の[illegible]リヨクおよびウラヂミロフの二要衝を占領した

一、獨軍は大巣サラトフ地區[illegible]艦ボルガ河畔の燃料庫に大[illegible]を生ぜしめた

一、獨爆擊機隊は廿一日惡氣流を[illegible]

北阿戰線 一、獨伊軍はエル、アラメイン地[illegible]および南沙漠地帶の英軍陣[illegible]に猛[illegible]を加へ空中戰で英戰鬪機[illegible]を擊墜した

一、九月九日より二十日までに英側は飛行機百八十九機を喪失、獨側は二十二機を失つた

[illegible]置してアルハンゲリスクの港で作戰英米大護送船團の殘存商船隊に對し反復攻擊を加へた

鎭淵海水利用工業 工場建設正式認可

鎭淵海水利用工業（資本金二千萬円社長津田信吾氏）では[illegible]南浦に工場を建設すべく[illegible]て金融統制法による許可[illegible]たが、廿日附で同社では直ちに[illegible]よつて同社では直ちに工[illegible]局の斡旋により工場用[illegible]に努めてゐるが、本年[illegible]工作に着手一ケ年半[illegible]場を完成、明後十九年[illegible]を開始する豫定である[illegible]建設費は約三千萬円であ[illegible]は海水利用による特殊[illegible]產〇〇萬トンのアロ[illegible]に金屬マグネシウム[illegible]んとするものである

東亞經濟朝鮮懇談會
二日間の日程、出席者など發表

決戰下大東亞共榮圈確立への朝鮮經濟の協力方策即ち半島の農業、鑛業、電力、化學工業等の自主積極的開發並興方策を檢討してこれを具體化すべき東亞經濟懇談會朝鮮[illegible]

原朝鮮軍參謀長の祝辭[illegible]演述に入り、企畫院調[illegible]郞氏（題未定）および[illegible]府企畫部長の『大東亞[illegible]設への朝鮮經濟の協力[illegible]て』と題する演述があ[illegible]

[illegible]

北方强化と造船第一主義
木造船で急場
鹽田企畫部長歸任談

【釜山電話】造船その他の重要問題につき折衝のため東上中であつた鹽田本府企畫部長は、廿二日朝釜山上陸特急『あかつき』で歸任したが機橋で次の如く語つた

機構改革に伴つて企畫部も愈よ廢止されることになつたが、初代部長西岡氏の後を承けて今日に及んだ自分としては感慨無量のものがある、機構改革については碓井事務官が目下折衝中であるから私としてはその問題には言及出來ぬが、企畫部の總決算ともいふか、これは先づ造船第一主義、進んで計畫造船に邁進すべきで朝鮮としては比較的時日を要せぬ木造船をどんく造つて輸送の円滑を圖るべきである、即ち內地から貰ふことになつた艦船、南方から輸入する石油その他の諸物資、天日鹽の減產に伴ふ補充用として輸入する山東鹽、長芦鹽の輸入にも先づ船だ、次に朝鮮としては今後一層需給態勢の確立を圖ること[illegible]

纖維輸出組合 廿八日創立總會

食料品卸商組合 廿八日臨時總會

朝鮮早場米出荷獎勵 第二豫備金支出決定

バーター制採用
佛印滿關交貿易方針決る

神代文字論【三】
三浦一郎

神代文字考證文獻

明治になつてからは先づ指を屈すべきは落合直澄の『日本古代文字考』同じく『美社神字解』吉良義風の『上記鈔譯三卷』同じく『上記鈔譯』大石凝眞素美翁の『眞訓古事記』木村鷹太郎の『日本太古史上下二卷』等は何れも日本に神代文字の存在したことを立證した文獻である。なほこの時代に注目すべきはドイツのケンペルマン博士が武藏の半田稻荷の下から神代文字を刻んだ碑を發見して、當時既にドイツの學界に發表したといふことである。これは明治十年の秋のことである。更に明治十七年には満國流文學の『日本神字總乾神二卷』が漢文で出てゐる筆者は七、八年前大阪で發見し、今日なほ珍重し秘藏してゐるが、主として上記と神字日文傳を基として纂錄したものらしい。約四十種ばかりの神代文字を纂錄してゐる。

更に大正、昭和にかけてこれを主張する者には酒井勝軍の『神字考』田多井四郎治の『日本神代文字論』同じく『日本神代文化研究總論』前田曙の『神字起源解』高畠康寄の『日國是文字源天地人三卷』等があり、この他にも德政金吾の『古代埃及と日本』水谷清の『古事記大觀』三輪義熙の『神皇紀』木村鍋洲の『大日本神皇紀』等々は皆神代文字の存在を承認してゐる。更に荒深道齋、宮崎小八郎、山根菊子、宇佐美景堂等の著書には何れも神代文字存在を强調してゐる。九州帝大教授で現在眞實會の調査部長をしてゐる藤澤親雄氏が最近『世紀の豫言』といふ本を出したが、この中に神代文字の存在に就いて相當詳しく書いてゐる。日本大學教授の仲木貞一氏なども最近は神代文字存在に就て大いに中央で氣を吐いてゐる。

＝神代文字の種類＝

次に神代文字の種類及びこれを所藏する神社その他の場所に就て述べる事にする。

一、神代文字の種類に就て

一體神代文字と稱するもの〻種類がどの位あるかと申しますとそれは實に無數である。今日神代文化研究所で蒐集し確認したものが約廿種類であるが最近は漸次新しいものが發見されて增えてゐるから確な數は明言出來ない。筆者が目下手許にあつめてあるのは七十餘種類ある。然るに數年前筆者の出入してゐる某旧家には祖先傳來の所藏文字が四百八十餘種類あつて何れも五十音字が全部揃つてをり又その製作年代及び作者の名前も明瞭に書いてある。又筆者が二十年來出入してゐる九鬼子爵家にも十數種類の古代文字が傳はつてをり、又神代文字で書いた古い卷物が數十卷ある。秋田縣の物部家に傳はつてゐるもの〻中に最近又全く新しいものが發見された由である。次に説明を省略してその種類を擧げよう。

無數に存す
神代文字「の種類」
＝枚擧に遑ない嚴存の文獻＝

1、天日靈（あひる）文字（又はアヒル神字（かな）とも日文字＝ひふみもじ＝ともいふ）2象形文字（又は象形神字＝かたかな＝）3、草文字（又は理窟文字、ひらかな）4、齋部（いんべ）文字5、天越根（あめこしね）文字6、筑紫文字7、伊豫文字8、クサキネ文字9、アヂチ文字10、コレタリ文字11、對馬文字12、種子（たねこ）文字13、武藏文字14、ホド文字15メド文字16、數文字17マチガタ文字18、出雲文字19、アナイチ文字、20、秀眞（ほつま）文字21、モリツネ文字22、龍文字23、結繩（ゆひなは）文字24、エビス文字25、星文字26、蛇篩文字27、天大文字28、春日（かすが）文字29、天津兒屋根文字以下等々である。これは書體の種類によつて命名したものもあり又は所藏者、發見者の名を冠したものもあり、又は地名を又は作者名を附して書名としたものもあるが、中には必ずしもさうでないものもある。

＝所藏する神社など＝

次に神代文字文獻を所藏する神社、寺院、圖書館、舊家等を擧げに金石、陶、土器等の出土品から發見された神字碑に岩窟に刻んだもの等に就て現存するものを列擧して見よう。

一、神代文字文獻を所藏する場所に就て

先づ出雲大社所藏の神符、神札、神璽等から發見されたものを列擧して見ませう。先づ出雲大社所藏の神符にアヒル草文字でヒフミ四十八字あり、又盤城國一の宮と稱へらる〻國幣中社都々古別神社の神體にアヒルの正體でツツコワケノオホカミとあり。又信州國幣小社[illegible]

戸隱神社の神體にアヒル文字の變體で、これは父音字を上に母音字を下に重ねたもので、朝鮮の諺文の字源と見るべきものといはれるもので、ヒフミヨイムナヤコトモチロ、アヘレ、アハレ、アナタノシ、アナオモシロ、アナサヤケと記されてゐる。又奈良縣丹波市の官幣大社石上神宮の神體にフツノミタマノカミと草文字で書かれてゐる。又この社には更に十種神寶の[illegible]

白衣の天使を初め 半島人軍屬も三柱
神鎭る靖國の七十一柱

櫻紅葉の色映ゆる九段の御社に大東亞建設の礎となれる護國の英靈は大東亞戰爭下に一際の感激一入深く來る十月靖國神社臨時大祭にあたり新に神鎭ることとなつた、今回合祀せらるる英靈は朝鮮關係において、

西内（京城府）村井、諫、松村（以上大邱府）大島（釜山府）田村（鎭海邑）の六大尉、窪田伊東（以上京城府）諏訪（仁川府）小林（大邱府）の四中尉をはじめ七十一柱で

○○日官報をもつて公示せられ、鮮内にある各遺族はいづれもこの光榮に感泣し社頭に晴れの對面の日を待ちわびてゐる、なほ朝鮮關係の合祀者中には半島人軍屬が三柱および白衣の天使として從軍せる元山府出身の救護看護婦榧原典子さんの英靈が紅一點、護國の神として祀られることとなつた

の一人息子だつた窪三中尉は京中同志社、高商時代を通じて名捕手を謳はれた野球の選手、戰場にあつては聯隊次者の中に部下思ひで有名であつた、昭和十四年七月二十四日ノモンハン事件ノロ高地の激戰で中隊長重傷の後を受けて指揮をとり奮戰中一彈は頭部を貫き仆れたが、むつくり起上り悠々と双眼鏡で偵察、次の一彈で腹部を貫通部下の名を一人々々呼びながら陛下萬歳を絶叫して天晴れな戰死を遂げた、さきに功五級六の恩賞にあづかつてゐる、東作氏は語をついで

『伜は決して死んではゐません今に私と共に生きてゐる、機械化裝備の絶對性を叫へて斃れた伜と共に高度國防の充實に生涯を捧げるつもりです』

と靖國對面の感激を語つた

報道戰士も合祀

【東京電話】このたび靖國神社に合祀せられる海軍關係の中にの戰士として中支戰線に散つた寶特派員故若月雄三郎君がある

靖國の對面を遺族に訊く
待ち佗びるその日
喜びを語る故窪田中尉の母堂

英靈宗廟と微笑みて永久に祀らる靖國の秋祭を、間近に控へノモンハンの勇士故窪田次郎中尉の實家京城松月町一京城職業紹介所長窪田次郎治氏(五七)の一家は喜びに包まれてゐる、母堂きよのさん(五七)に二女があり今回次女松枝さん(京城第二高女五年生)が父親と同行晴れて靖國の社頭に對面する、一粒種だつた故次郎中尉は龍中を經て水原高農時代半島ラグビー界の名バックとして謳はれてゐた、ノモンハン事件來戰直前昭和十四年八月廿七日イリンギングルードル平野の激戰の模様を當時の○隊長の手記には

砲側から發射をみることが出來なかつた、放列測定にありし窪田少尉以下力戰奮鬪せしも敵彈命中！無念○隊長以下壯烈なる戰死を遂げた、あの勇壯な窪田少尉も遂に名譽の戰死を遂げたのである

と壯烈な突擊瞬間の模様が記されてある、功五級六の榮譽は燦として輝く故人の大型寫眞を背に母堂きよのさんは語る

主人も娘も社頭對面の日を待ちわびてゐます、み前に祀られる感激に胸がいつぱいで無口で負けん氣の武人型だつた次郎の姿を思ひ浮べてゐます、出發を見送つた時に肌身につけた名札を示して『お母さん靖國の門鑑ですよ』と朗かに笑つた程ですから故人は何より滿足でせう

伜は生きてゐる
故伊東中尉の嚴父語る

『伜よく聞け必ず歸れ、桐の小箱に納着て、會ひにゆくぞえ九段坂……これは伜の出發に際して私の贈つた唄であれも喜んでゐました』

二十二日本町二丁目の自宅で語る故伊東寅三中尉嚴父東作氏は今感激でいつぱいだ、冬子夫人(五七)と

寫眞＝（上）故寅三中尉が生前戰地から寄した手紙に追憶を新たにする伊東夫妻（下）喜びを語る故窪田中尉の母堂

臨時大祭を前に乙女の奉仕

【東京電話】新祭神一萬五千二十一柱の忠魂を迎へる秋の靖國神社臨時大祭を前に日本女子大、東京女高師、青山學院、明治大學各女子部、日本女子高等商業學校、帝國女子、實踐女子、東京女子、和洋女子、共立女子、千代田女子、聖心女子學院、東京家政の各專門學校の各學生は五十名を一組に去る六月中旬から一週間交代で陸軍省に通ひ靖國神社合祀事務の奉仕をしてゐたが、合祀英靈發表された廿二日をもつて豫定の事務奉仕を終了した、足掛四ケ月、延人員五千の乙女部隊は毎日國民服姿で奉仕を開始、護國の勇士の面影を偲びつつ午前八時から午後四時まで誠心誠意の奉仕に事務の進捗ぶりは驚くほどで大祭關係者を感激させた、なほこの奉仕は引つづき都下學校報國隊の女學生により九月一杯つづけられ、案内狀、遺族御尊送發送などの事務を手傳ふこととなつてゐる

聲の故若月特派員は昭和十三年六月杭州灣江部隊に從軍、安慶上陸で同月廿二日カメラを手にしたまま壯烈、長江上に報道戰線の華と散つたものですでに昭和十五年二月には旭八の恩賞に浴した同特派員は千葉縣立房郡西條村の出身である

さとす"立派な日本の子供"
東條さん・兒童代表團の一刻

【東京電話】二十二日朝九時二十分ごろ『獻納機命名式全國兒童代表團』の幟を先頭にブラスバンドの吹奏も勇ましく二百七十名の可愛らしい少年、少女の一隊が隊伍堂々首相官邸に繰込んで來た、これは廿三日に因んで前日所澤飛行場で陸海軍にそれぞれ獻納報國號二機、兒童教職員號三機を獻納したた全國聯合國民學校職員會々長中島京橋第一國民校長に引率されて來た全國職員兒童一千三百萬の各府縣代表一行二百六十七名で、兒童五錢、職員二十錢と醵金が積つて四十一萬円となり、こんどの獻納機となつたので、その報告に訪れたわけだ、この朝文相官邸で橋田文相と面接を終へその足で首相官邸に東條首相を訪れたものである、大廣間に招じ入れられた一行は東條さんから『皆さんと一緒に國歌を奉唱しませう』と君が代を奉唱してから東條さんはよい子供たちに

日本をはじめ世界の國々は國が盛んになるか亡びるかの大戰爭をやつてゐます、しかし皆さんは學校で平常と變りなく立派な教育をうけてゐるのです、之は偏へに天皇陛下の御光りのお蔭であつて洵に有難き限りであり、皆さんの幸福このうへもないことで世界中どこを探してもはないのです、どうか平素先生や父兄の方々の敎へをよく守りまた友達とも手を取合つて一層立派な日本の子供となり、やがては立派な日本人になつて本當に御國のためにお役に立つて戴きたい

と激勵すれば兒童代表の大分市荷揚町國民校六年生の河野行男君が總理大臣さまのお體は日本のアジヤのお體ですからどうぞ御病氣になられませぬやうお祈り申上げます

と切々とした答辭を述べ最後に首相の發聲で萬歳奉唱し官邸を辭した、一行はそれから宮城二重橋前に向ひここでも國民の誓ひを行つて馬場先門前で解散式をあげた

"罪の少年"善導へ
保護司七十八名任命

少年審判所の一翼として少年者の保護にあたる民間の篤志保護司京畿道、江原道七十八名の辭令傳達式は廿二日午後二時京城審判所で開かれた、會場宮本法務局長、原高等法院長始め法院六長官以下法務局高等保護課職員、少年保護事務所上野所長の式辭に續いて山田司以下の辭令傳達が行はれ、次いで法務局長の告辭があり、保護司の答辭によつて閉式した

傳達式にひき續き保護司の取扱ひ事務についての協議打合會が行はれ、それより少年保護團體の充實を圖る目的の朝鮮中部少年保護事業助成會結成式が開催され、民間から盛上る少年保護の翼贊態度を決定して同五時半終了した

京城出發福岡へ
訪日滿洲國空軍第二陣

京城飛行場に待機中であつた星野少校の指揮する訪日滿洲國空軍第二隊○機は廿二日午後二時十八分同飛行場を離陸一路福岡に向つた

第二陣福岡着

【福岡電話】京城に待機中であつた訪日滿洲國軍飛行隊第二陣は廿三日午後二時八分勇躍京城を出發翼を連ね一路玄海の波濤を越え午後四時三十分雁ノ巣飛行場に到着した、同夜福岡に一泊のうへ二十三日大阪へ向ふ豫定である

訪日飛行第一陣大阪着

【大阪電話】廿二日午前九時四十五分福岡を出發した滿洲國空軍訪日飛行隊指揮官野口少將搭乘の先發隊○機は午後零時十五分大阪第二飛行場に着陸した

佛印西貢で開く商品見本市
鮮産物資の出陳品目決まる

躍進半島の産業、文化等を南方共榮圈住民に紹介して技術的指導をする一方、鮮産品の南方進出を圖るため總督府では來る十二月廿日から一月廿日まで佛印西貢で開かれる佛印總督府主催の商品見本市場に鮮産物資の出品をすることになり、廿二日午後二時から商工獎勵館で總督府から商工獎勵館、原事務官、資源技師、商工獎勵館中立主任等が當局を代表して出席、朝鮮貿易協會、同振興會、鐵道局、遞信局、京畿道、京城府の係員をはじめ關係者代表約卅名が集り出品打合せ會を開催したが、約三時間に亘り協議を重ねた結果、朝鮮產の纖維物、『サザエ』『鮑』『カニ』の罐詰、農具、藥草、人參、電球、カーバイト、人絹、漁網、海苔、蘭草、化粧品等九十五種の物資を出品することに決定を見たが

大東亞戰爭このかたわが共榮圏陣營に參加した佛印住民の日本商品歡迎に應へて特に今年は漁網、農具、特殊鋼、カーバイト、木工製品、螺鈿漆器、洋傘、花莚、化學製品等が追加されてゐるのが目立ち北方共榮圏建設に邁進をとつてゐる半島が南方へも多大な貢獻をすることになり、半島產業今後の非常な期待がかけられてゐる

卒業式 京城藥専藥科第十三回卒業式を廿六日午前十時から同校講堂で擧行

羨ましい日本
王濤氏語る

大東亞の建設には日支が固く結束して進むことが何よりも先決だ、と今から三十年も前から日支提携を叫んで大正七年の秋、日本米飢饉と知るや直ちに多額の米を日本に輸出して、日支親善の先驅を務めた支那先覺者の一人政務故王羽臣（祝山）翁が横濱滯在中、關東大震災で不慮の死を遂げてから今年十九年目、去る十三日東京芝區靑松寺で開かれた故人追悼會に出席した蒙疆華北政務委員會諮議新民會天津常務委員王濤氏(五三)は二週間の內地滯在を終へ二十二日午前七時二十分釜山發『大陸』で一路歸國したが車中で語る

あれから（震災當時）十九年振りで日本に行つた、先づ強く感じたのは日本の敎育の行屆いてゐることだ、自分が明治神宮並に各聖地を參拜した時到るところで見られた女學生の勤勞作業や各國體愛國班員等の奉仕振りでこゝに日本國民の敬神の念に强いことで、支那では全く見られない風景でこゝに日本の良き國民訓育も解り、そこに盛上る精神の團結力を縷々と感じた、日本あつて初めて榮えることの出來る支那はこの尊い精神の持主である兄分の日本の指導を受け日支がますます結束を固め、心から融合して行けば必ず大東亞共榮圏の建設は近いものである

警察官の心構へを說く
松井茂翁來城

警察の神樣と呼ばれ統監府時代の初代警務局長だつた現貴族院議員大日本警防協會副總裁松井茂翁が廿二日朝ひよつこり入城、七十六歲とは思へぬ元氣さで京畿道廳に現れ『大東亞戰下における警察官の心構へ』と懇し老翁からみれば子供みたやうな警務局の課長連中道警察部職員を前に

『日本の警察官は軍人と少しも變らない、重點主義といふことが言はれるが、今の警察は經濟刑事どれをみてもみな大切なものばかりだ、皆さん方の一段の奮起を望む』

と心構へにつき熱辯を揮つてから警察官講習所、警察參考館を視察田中政務總監と午餐を共にして午後"あかつき"で退城した

拔荷防止の名案を語る

荻原 次に拔荷に關聯して現在の荷造を見ますに由來荷造りといふものは組織立つた大企業の場合は荷造も生產費なりといふので荷造りをするが、組織立つた大事業でないところに在つては荷造りは生產費なりといふことが十分徹底してゐない憾れがあり從つて出來るだけ手を拔き一枚の板に三本釘を打つところを二本にしたり、繩も五條かけねばならぬのを三條にしたり致しますので、これが破損の原因になり延いては拔荷の動機をつくることにもなると思ふのであります

それに關聯して船の積揚積下しの問題で、仁川における狀態は非常に惡いといふ話でありますが、如何に荷造りをよくしてもその取扱ひが亂暴であつたら、なんにもなりません、しかし仁川における積揚積下しは艀毛艇對代理店の問題で、これに對しては朝運も監督指導が出來ない立場にあります、將來仁川港運送株式會社でも出來て、その指導監督、作業の改善といつたことが叫ばれるときは一歩々々改善されませうが現在の仁川港における狀態では吾吾としてはどうすることも出來ません、そこで考へられることは假令僅かな荷物でも拔取らなければよいぢやないかといふ問題になりますが、その點私共最も頭を痛めてゐる點で、食へないから荷拔きをするのだといふことになるかも知れませんが、食へないがためといふのは現實で、さて食へるやうになつたら拔荷をせぬかといふと決して拔荷は減らないと思ふ、從來日給二円五十錢であつたが、三円五十錢にしてやつて拔荷が減るかといふとさうではありません、私の方で會社運營の重點を作業の上に移していかうといふ問題も結局拔荷問題を解決せんがためであります

先決問題は彼等をして本當に朝鮮運送の作業員であるといふことを心の底から認識させ、拔荷は朝鮮運送が責任をもつものだといふ觀念を抱かせることで、取敢ず會社としては二萬五千の作業員に對し共濟組合を作つて彼等が荷扱ひの途中怪我をしたり病氣になつた場合は、相當の治療上の保護策をとるとか、死んだ場合は弔慰金を出したりして彼等を精神的にある程度後顧の憂をなからしめると言つたことも考へてゐます

もつと現實な問題としては、俺等だといふ氣持を持たせるためにはどうしたらよいかといふことになるが、これは收入さへあればよいといふのではなく彼等の生活の徹底をある程度まで安定さすとが先決問題であるといふので作業員の住宅問題を中心に熱意研究してゐます、一定の住宅を建て百人なら百人の作業員を收容し、それに內地人の監督をつけて置けば、彼等の生活といふものは殆ど一樣であり、若し惡いことをして少しでも他のものより贅澤な生活をしたり餘計な物を持つとあいつはをかしいといふことになり、直ぐに摘發されるわけでありますから、自然拔荷といふやうなことも減少するのではないかと思つてゐます

そのために今年は差し當り百五十二萬円だけ支出し、住宅の建設方を住宅營團に賴んでゐる次第であります、また直營でも八十萬円ばかり投じてやらうといふので計畫を樹ててゐますが、資材關係もあつてなかなかうま

米穀貨車に忍び 走る列車から落す
現場に指導者の問題
中

高田 荻原さん、巧妙な拔荷事件はありませんか

荻原 拔荷は全般的に朝運の從事員のみの仕業かといふと、一概に斷定し、こんなことをいふと語弊がましく思はれるかも知れませんが、最近こんな事件がありました、八月十六日城東驛で五百五十俵の米を積んで出たところその米を積んだ貨車六二五號に米を積んだ、このワサ六二五號は何時に出て、何時にどこへ着くかといふことを調べたら午後八時に城東を出て吉州に同十時に着くといふことが分つたので時はよし早速仲間に手配を頼み、自分はその貨車に知らぬ顏をしてしのび込み、ある地點の仲間が待ち伏せてゐるケ所を通りかゝつた際に米を次々に列車から落し仲間に運ばせ、自分は次の驛で降りて知らぬ顏をしてゐたといふことが分つたのであります、つまり拔荷の責任は全部朝運に負はせられないといふ風にも考へられます

高田 作業員の福利施設も大切でせうが精神的訓練の方はどう

荻原 精神的訓練の方にも力を致していろいろなことをやつてゐますが、中でも金泉と新義州の丸星は鐵道の訓練よりも徹底してゐます、そこで京城でもこれを作るために金泉の指導者を態々金泉、新義州の如く優秀な作業員なつてゐますか

呼んで京城驛で作業員の作業振りを毎日見させ、さうして精神的訓練を吹き込んでゐます、初めのうちは大東亞戰爭はなんのためにやつてゐるのか、また宮城遙拜や默禱もなんのためにするのか全然判らなかつた狀態でありますが、それでもこの頃になつて、この精神的指導によつて大分わかりかけて來たやうであります

高田 丸星に籍のある內鮮人の割合はどんなものですか

荻原 昭和五年會社創立當時は內地人三割、半島人七割の割でしたが、この頃では內地人は二割五、六分といつた程度です、聰かい話ですが朝鮮運送へは內地人は喜んで來てくれません、その主な原因はどこへ行つても頭が上らないからで、同じ中等學校を出て一方は鐵道局に入り、一方は運送會社に入つたとしたら小運送の方に入つた者はどこへ行つても御無理御尤もで頭が上らないために折角人を優待しても直ぐに逃げて行く有樣です、まアなんといふか、朝運へ入つても運送といふ重要な仕事に對する自負心がないから、そんな結果になるのです

近頃計畫輸送といふことが始つてゐるけれどもどんな計畫をたてゝも結局はそれに運送屋がついて行かなければその計畫は確立致しません、そんな自負心でも持つて行かなければ駄目です私などはそんな自負心のもとに働いてゐますが私から言はせれば世間の人も苦干惡いところがあると思ひます、つまりさういふ訓示をして貰つたりなどしますが、それからさつきの住宅問題でありますが、現在では社宅がないので入社して漸く一人前になると皆辭めてしまひます、これが對策としては社宅を建てこれに入れるやうにでもすれば居つくだらうといふので本年度千五百戸ばかり五ケ年計畫でやることになりました

服部 みんな重要な國家機關の一部だといふので、お互に助け合つて行かなければならぬ

星出 金泉は非常にうまく行つてゐるやうですね

荻原 天元といふ半島人が指揮してゐますが、この男を實は京城に呼んで精神的訓練の指導をしてゐるわけです、ところがこの男はなかなか熱心な男で毎朝五時半には必ず起きて金泉神社にお參りし、さうして雪の降つた朝は百廿四段もある神社の石段の雪を掃くといふことです

高田 私もみたことがありますが、仲々立派な男です、それで金泉驛の拔荷事故といつたもののはやはり少いですか

森井 すつかり事故がなくなりました

橫 靑年、壯年に對する訓練的な訓練はどうなつてゐますか

森井 訓練的なものまでは行つてゐませんが、毎朝仕事を前に默禱訓練をやつたり、半島人に對しては簡單な內地語を敎へたり、國民儀禮をやる程度まで進んでゐます

飯塚 事故防止協會はどんな仕事をしてゐますか

森井 時々本協會が主催となつて會合を開き驛長あたりか

出席者
▲官廳側　八木鐵務課長、小泉物價調整課長、星出鐵務局事務官、三原鮮鐵小運送係長
▲朝運側　荻原副社長、松山常務取締役、森井作業課長、大津營理課長代理
▲荷主代表　飯塚商議々員
▲本社側　高田政治、經濟部長、　社會部長
場所日時　九月十七日午後三時朝鮮ホテル

防寒用品・先づ充分
スフ毛糸も出廻る

半島の冬支度打診

夏から冬へひと跨ぎ半島には早くも霜柱立つの報が北の方からやつて來た、寒い朝鮮に備へて繊維賣場の店頭にも冬を迎へる防寒用品がぽつぽつ出はじめた、產業戰士の作業衣、幼い子供達への冬支度がどんなに準備されてゐることだらうか、京城の代表的な一百貨店の言葉を訊いてみる

◇……防寒用としての毛糸はスフ絹スフの二種類に限られてゐる、改良されて保溫には適してゐるが、重いのが難、しかし彈力もあるからこの冬から大いに利用されようし、入荷も充分

◇……衣類品は流石に柄物が減つて單色性の銘仙物が大衆的となつた、小紋、縮紗も多少はあるが、高級品として振り向かれない、珍しいことは鮮產大島の出現、これは數は少いが追々增產されよう、人絹は實用向には落第で今年は少い

影をひそめてゐる、色彩は紫、茶の二系統が流行、戰時柄としての『矢がすり』は全く入荷しない

◇……メリヤス類は指定品以外は組織製品が工程を高めて保溫に適してゐるが、入荷も澤山、昨年から賣り出した更生系製品は入荷も昨年同樣の入荷量、毛皮襟卷も現れたから寒い方の人々は安心してほしい、ベルベット品は全く不適として入荷はない

◇……婦人子供の洋服地は全く懸まれて五十%から八十%程度の毛織物がどつとやつて來た、今年は生地を買つて各家庭で加工して防寒衣を作ることをおすすめしたい

◇……ジャンパー類のレザー製品は相變らずピロード物が全盛、これは保溫と美で好まれよう、絹製品のラクダに代つて『組擬製品』がやつて來たが、これは色も體裁もラクダと同樣で今年から街の辻々に現れることだらう

◇……帽子は兎毛製品一點張り、スキー防寒帽も朝鮮にはなくてはならないものだ、子供用防寒帽も澤山賣場に現れる

◇……最後に綿は標準型の中入綿（纖織物）が不足せぬ程度つた、自由製品としての入綿もあるが、買占めさへやつてければ綿織で充分この冬を越せるだらう、更生綿は取扱はない

殖銀優勝
對三井硬式庭球

京城體育振興會主催硬式庭球試合は廿二日午後五時半から京城府町三井コートで擧行、殖銀野副君が優勝した、スコア次の通り

B級ダブルス

準決勝		
殖銀（野副 向井）	八一六	東 纐纈（中山）
三井（徳永 豊川）	八一六	内矢（勝野）
決勝		
殖銀（野副 向井）	六一三	道鐵（木 淸）

B級シングルス

準決勝		
三井 徳永	八一六	東纐 中山
殖銀 野副	六一三	三井 豊川
決勝		
殖銀 野副	六一一	三井 徳永

京城版

競技に盛る戰時色
砂利運搬五十粁强行軍を擧行
神宮奉贊體育大會開幕

朝鮮體育振興會國防訓練部では來る廿四日から開會される第十八回朝鮮神宮奉贊體育大會に當つて本年は特に大東亞戰爭下に展開する大會だけに一段と戰時色を濃くして大會に生彩を加へるため體錬奉獻の訓練として奉納砂利運搬五十粁强行軍を擧行することに決定廿六日十組參加のうへ水原から京城に向つて急進軍を開始する

この奉納砂利强行軍は廿六日午前四時十分參加戰士一同水原神社に集合し朝鮮神宮に奉納すべき砂利袋を背負袋に入れ(重量一人當廿瓩)五人一組となつて同五時分隊單位の强行軍を開始安養、始興、南大門を經て京城運動場に向け急進する

この間戰爭的情況を顧慮して朝食、晝食は握飯を支給、途中始興では戰地に大根畑があるものと假定して生大根一本を支給することになつてをり戰地そのまゝの强行軍を敢行させる筈で研究委員は本行軍で疲勞度の調査とその他醫學上の諸研究をなすことになつてゐる

龍江町青年隊の國民體操

鍛錬の秋だと龍江町青年隊で[illegible]を目指して、十九日午前七時から大興町五一龍江國民學校で隊員百七十五名が國民體操を[illegible]したが、今後も毎月第三土曜に行ふことになつた

結成式を擧げる

日婦上往十里分會の結成式が廿二日午前十時から同町會事務所前廣場で擧行された

風變り離婚談義
湯淺所長と"迷ふ婦人"

人口增殖にひと役を擔つて月下氷人を勤める結婚相談所に、これは變つた人生相談が持込まれ、纏めるはずの所長が破談をすゝめたといふ結婚異風景物語――廿日の午後丁子屋三階の結婚相談所を訪れた三十年前後の婦人があつた、湯淺所長のすゝめる椅子に腰を下すや女は泣きくづれた、驚いた湯淺さんが宥めすかして事情を訊くと女は京城有名會社の高級社員の內緣の妻內田滿子さん(三〇)=假名=で十年前滿子さんが橫濱で知合つた一學生のために學資を貢ぐ中男は卒業して京城に就職、滿子さんも共に渡鮮して京城の生活を營んだ、その中に身重となつた滿子さんは夫に入籍を賴んだが頑迷な兩親が聞入れずその上夫からも夫を理由に無謀な離別を宣告されたといふ、滿子さんはさう夫の行跡を詰り母としての立場を如何にしたらよいかとの相談を求めて來たのであつた、聞いた湯淺氏は次のやうに話した

あなたは子供をまづ安らかに產みなさい、そして夫に未練がなければはつきり別れることです母親として子を、育てることは大い義務ですから第一にそれを果さなければなりません、そしてその子を立派に御國へ捧げなさい、あとのことは及ばずながら私がお引きうけします、ではよく考へて置いて下さい

この思ひ切つた湯淺氏の裁斷はどう結果を結ぶか興味を持つてみられてゐる

湯淺さん

日婦分會結成

△=大日本婦人會上往十里町分會結成式は、廿二日午前十時から同町會事務所前で會員二千名參集古市府尹列席、斡旋役の伊東總代の指導で擧行されたが、分會長には府議不破三平氏夫人エイさんが推され正午散會した

△=日婦明水台分會では二十四日秋季皇靈祭の佳日をトし、午後二時から黑石町中央保育學校々庭で

文化
新興滿洲文學 (2)
淺見淵

作家たちが若いといふことは、取りも直さず洋々たる前途を孕んでゐることである。滿洲文學はいまや係任をハツキリさせて來たが已條なくいへば漸く地方文學的域を脫したばかりである。即ち、流石に題材は多彩に富んでをり、また活氣に溢れてゐるものゝ、兎もすると題材主義に陷り、確たる文學精神の樹立において缺くるところが見いだされる。

だが、滿洲作家たちは今や滿洲文話會を解消して、滿洲國の新しき要請のもとに滿洲藝文聯盟なるものを結成し、各自その一員として現に活潑な創作生活を營みつゝある。いま述べたやうに微等なすべて若いのである。我々は暫くは何もいはないで、ただし刮目してその前途を見守るべきである。

滿洲文學の特色に觸れる前に既版の滿洲作家たちの創作集を擧げて置かう

竹內正一著『氷花』(作文發行所)『復活祭』(滿鐵社員會)日向伸夫著『第八號轉轍器』(砂子屋書房)三宅豐子著『時の歌』(出版書房)北村謙次郎著『春聯』(新潮社)高木恭造著『奉天城附近』(作文發行所)大內隆雄譯・滿人作家選集『原野』『蒲公英』(三和書房)古丁著『平沙』(中央公論社)山田清三郎編『日滿露在滿作家短篇選集』(春陽堂)淺見淵編・日系作家選集『廟會』(竹村書房)『地平線を行く』(赤塚書房)川端康成・岸田國士・島木健作・山田清三郎・北村謙次郎・古丁編『滿洲文學選集』(創元社)

滿洲文學の日系作家側の特色から擧げると、先づそれが凡て勤勞者の文學であることだ、そして、創作活動が同時に一方營んでゐる職業生活の熱離になり勵みになつてゐることだ、その結果、殆ど私小說は見當らず、滿洲の動ける社會的現實が取上げられて居り、强靭な生活力に溢れてゐることが何よりも目立つ特徴である。

京日俳壇 秋季雜詠 高濱虛子選

井州 三宅清港子

どびろくを飲む勞の大荷物　全南 霽島 琇寶

網開うて落し遅れし門田かな　京城 笹井 由利

指詰めて一人遊ぶ兒秋の蟲　全州 藤山 龍生

借家にはすぎたる島大根蒔く　石門 吉田 靜子

華語少し覺えて買ひしカンナかな　平壤 三島亀城子

天の川よぎり流るゝ星のあり　興南 寵牧 文子

靜かなる雨となりけり萩の宿　京城 山下 遊子

たもとほる百濟の古都の秋涼し

第一回朝鮮産業工藝圖案展

皇國朝鮮の進出を目ざす朝鮮輸出工藝協會主催の『第一回朝鮮產業工藝圖案展』は廿二日から六日間京城三越で開かれた出品物は服飾、家庭、室內、趣味、遊戲の各調度用品に時局向の色彩を加工した優れた半島の工藝美術模樣を一堂に展示したもので、參考出品として總督府中央試驗所、關北工業試驗所から十數點が參加、文字通り絢爛物を繰りひろげてゐる

合同懇親會

一朝有事の際は銃後治安維持に一役の構へをと永登浦警友會では廿六日(土曜日)午後一時から放鶴亭運動場南側林間に於て定期總會を兼ね、永登浦署員と合同懇親會を催すことになつた

食肉組合總代會

京城食肉販賣商業組合では廿二日午後三時から半島ホテルで創立後の第一回總代會を開催、時局下食料需給問題について眞摯な意見を行ひ同六時散會した

ゴム毬有難う 兵隊さんへ感謝

【坡州】あがる皇軍戰果にのびゆく南方風情のかほりも高いゴム毬を銃後のよい子供たちに贈る皇軍のゆかしき心づくしをこのほど南方前線から坡州郡西面[illegible]を通じて三一七五ケ郡內各國民學校兒童たち戰捷第一回記念に配給され

爽秋、奏づ敢闘譜
國民學校秋の運動會

爽涼の秋を迎へて興亞の兒等が體位錬成に一齣の敢闘譜を奏でる、京城府內公立國民學校では恒例の秋季運動會を順次開催中であるが廿二日には鞍山、又新、櫻井、[illegible]洞、渼洞、[illegible]、孝昌、錦町、鐘岩で擧行、秋晴れの下親子打揃つての健康な笑ひと歡聲に終日どよめく明朗な風景をみせてゐる、明日の亞細亞を擔ふ次代の國民のために、今年は特に『厚生體操』その他鍊成目的に新味を出してをり宮野京城府學務課長ほか、各視學は連日各學校に出張指導督勵に當つて鍊成運動會を意義あらしめてゐる、三清國民學校他十校は既に開催濟みで廿三日以後の開催校次の通り

二十三日=南[illegible]　二十四日=西[illegible]　二十五日=日出[illegible]　二十六日=舞鶴[illegible] 閑明、淸凉各校　二十七日=男子[illegible]　二十九日=竹添[illegible]　十月二日=[illegible]　同九日=龍江[illegible]

太平洋刊行

[illegible]朝鮮聯盟では次代の海洋精神を[illegible]ようと過ぐる海[illegible]集した海に關す[illegible]字、短詩等の蒐[illegible]『太平洋』を刊[illegible]急いでゐたが、[illegible]よ近く發刊する

空翔ける乙女の夢
街の慰問袋

◇……スーイ、スーイと模型飛行機は生き物のやうに飛び『次の代はあたし達だ……』と女生徒達は朗らかに叫びます、手製の模型機を右手にキツと空を睨むは第一高女五年生の宮內信惠孃

◇……先般の校內競技大會で一分二秒の記錄を作り驚かれるやうな若手の風に平素の研究と努力が報いられました

◇……同校にはグライダーの安永世江孃などもあり、谷本敎諭の指導で全校生徒は空へ向つて張切つてゐます【寫眞=模型機を飛ばす宮內孃】

目標は二千頭
坡州郡が豚增殖に進発

增殖に多角的[illegible]その內譯豚增[illegible]より同十八年度[illegible]畫を立て目下[illegible]而も豚のない[illegible]まで二千頭の[illegible]

赤痢に御注意

[illegible]は尙充分飮食物に注意し罹病せぬやうにと府民達の衞生心を喚起し

音樂協會でも競演會
新種目に音感

朝鮮音樂協會主催による第一回音樂競演會は聲樂、提琴、洋琴、音感の四種目に限り京城府學務課長を審查委員長としてそれぞれ專門委員の擔當で十一月十日から三日間府民館にその豫選會が行はれるが、種目別の豫選課題曲は次の如くである

【聲樂】一、シューマン作デ・ロートス・ブルーメ(獨)二、シューベルト作アン・デ・ムジーク(獨)三、スカラツチ作、オ・ケツテ・デ・ピアガルミ、(伊)四、ペルゴレージ作ニーナ、五、山田耕筰作野薔薇、六、小松耕輔作母、愛國の花、興亞行進曲、愛國歌、燃ゆる大空、太平洋行進曲

以上のうち獨伊歌一曲、邦人作歌一曲、愛國歌一曲を選擇することになつてゐる

【提琴】モツアルト作協奏曲四番輕樂章

【洋琴】モツアルト作ソナタ輕樂章

禪か、藝術か
雲道人書畫展

宗教家か藝術家か、今特に美術界方面で特異の存在として話題になつてゐる雲道人小林金剛氏の作品展覽會が廿三日から廿七日迄京城三中井六階畫廊で開かれる即ち畫よし書よし、篆刻よし陶器よし、更に漆器もまたよしといふ八面六臂の禪味豐かな藝術を作り出す人だが、今回は畫三點、書十七點のほかに木額の橫物も出陳される筈、兎に角これこそ異色ある展覽會といふことが出來る

軍國調豊かに
京日鍾路劇場

京日鍾路文化劇場では、廿四日の秋季皇靈祭當日から廿七日の日曜にかけて四日間、晝夜二回にわたり唄と踊りの娘部隊による東亞女子樂劇團が上演する、その出し物は次の通り全部が軍國調のものばかりである

(一)樂劇『東亞三人娘兵樂園めぐり』十景 (二)輕喜劇『軍國部と五人娘』一幕 (三)バラエティー『戰勝の秋』十八景

【寫眞=その一場面】

不連續線
意外

內輪話のやうになつて恐れ入るが、世の中には、物を知らないにも程のある人があり、すぐ近くまた、相手を女と思へば、[illegible]づきたがる人もあるといふ一つの例にはなるだらう。即ち、きのふ某病院へ配達された一枚のハガキの宛名に曰く『京城日報社學藝部內 京日俳壇選者高濱虛子孃樣』

文化だより

◇模型航空機展覽會 朝鮮航空團本部主催、廿三日から廿九日まで三越四階第二催場で開催

◇幼稚園聯合學藝會 京城幼稚園長親和會主催、十月一日(木)午後二時から府民館で開催、出演幼稚園は梨花、森明、水標等全部で二十におよぶ

獻金

京城和泉町第三區十愛國班員は大東亞戰勃發以來夜勤暇を利用して袋貼りをしてゐるが、この程その代金が廿一円七三錢になつたので長谷川班長が代表で古レコード五十八枚を添へ十二日軍愛國部に獻金した

講演會

【仁川】府教育會は二十六日總督府學務局島田視學課長を招き公會堂で講演會を開催するが時間節に演題を左記の如く變更、父兄教育者の多數來聽を望してゐる、午後一時から、家庭教育に就いて午後三時から時局の教育者精神に就いて

相撲廿五日に變更

【仁川】府內好角家達の血を湧かせてゐる大日本大相撲仁川場所二十四日華々しく開かれることになつてゐたが都合により二十五日興行に變更された

京城競馬第五日目勝馬豫想
(◎本命○對抗馬△穴馬)

第一競馬ア系新抽 ◎ムラキヨ、クニサダ△サンキヨウ、マツガサネ○ハヤテ、ムセン
第二競馬新抽 ○シンハヤフサ、コクリユウ◎ユウシユン△カマクラ、サンテヨウシ
第三競馬抽籤 キミトボク○ダイニライオー◎ハイト、マルタカ、アサコ
第四競馬呼障 ◎ニイタカヤマ、アヲバヤマ、コマハヤテ○テクシタマフミ△カハク、ホクショウ
第五競馬新呼 ミネタカ、フク○カクホウ◎コクホウ、トミタヨ、ハクヒメ
第六競馬古呼 エンコウ、テツホマレ○カツトク、サイレイ△アヅマフジ、モトイチ◎センショウ、モジガセキ
第七競馬ア系古抽 ワカツキ、ホシ△ホシトミ◎ヨシカツ、カナエ○アサカツ、セイテン
第八競馬古呼 ○タカフブキ、イチコトブキ◎マスラオ、イチタイホウ
第九競馬軍司令官賞 コウヨウ、ミヤノウラ△クニノハナ◎マツヨシ○ナガトスズ、トウカイ、ヨシトモ、ホウエン
第十競馬古抽 ◎マツダイ△カスガ、ヒナワシ、ヒロサカエ、シヨウトク、イツシンドウ、フクヒライ、マツテツ○クモゼキ
第十一競馬ア系新抽 イツシン、スズエ△エイ◎トシカツ、チヨコ○コヒメ、カミエギク
第十二競馬古呼 アヅマ、ヒメヘル、コウグン△ホシノボル○ハクシユン◎キヨマサ、ケンプウ

ラジオ 廿三日

朝 六・二五(城)今日のお知らせ▲六・三〇「興亞人材の養成」川岸文三郎▲七・四五(城)今日のお知らせ(朝鮮語)▲八・三〇(城)朝禮訓話『秋季皇靈祭を迎へて』中村孝也▲九・〇〇(城)(鮮語)『母に勸めたい教育貯蓄』天城活蘭▲一〇・〇〇(大)『カハイ、オミヤゲ』吉川佳代子▲一一・〇〇 音樂鑑賞『愛馬進軍歌』他

晝 〇・三〇(城)管絃樂▲歌劇『魔彈の射手』ほか(音盤)▲〇・四五(城)初步國語講座▲一・〇〇朗讀『子等に祈る』赤沼放送員▲二・〇〇軍事講話『[illegible]』▲二・二〇(城)朗讀(鮮語)盧天命▲五・一五(城)國史譚『測量家伊能忠敬』(鮮語)琴川寬

夜 六・〇〇(城)お話『秋の自然』中村朝次▲六・三〇(城)『初代川柳忌に際して』寺田五柳子▲七・五〇(ローマより)イタリー通信▲八・〇〇(城)管絃樂『四つの朝鮮民謠』京城放送管絃樂團▲八・一五(城)座談會(鮮語)『食糧節約の方法と經驗を語る』井山弘ほか▲九・〇〇『フイリツピンより歸りて』村田省藏▲[illegible]短篇劇『軍事郵便』小島洋々ほか

愛の赤道【219】
竹田敏彦(作) 都竹伸一(繪)

二人の被害者(十七)

『……………』

二郎は、默つて顏を上げたが、その表情には狼狽の色が蔽へなかつた。

『こんなことは、上官としては、勿論、立ち入るべきことではないかも知れないが、友人として、一應意見を聞かうぢやないか』

大尉は、につこり笑顏を作つてみせた。それは二郎の氣持を寬がせようとするよりは、寧ろ相手の狼狽を見て、自然と兆してくる例の千鶴子の問題に關する二郎への不快な疑惑の念を、自ら拭ひ去らうとする友情の努力でもあつた。

『實は今日まで、ゆつくり話す機もなかつたが、俺が上陸して間もなくのことだつたよ。こゝの敎員が、我軍の上陸當時米兵の暴虐から同胞を守つて、壯烈な最期を遂げたといふので、その家へ部隊を代表して慰問に行つたんだよ。すると、それが佐智子さんの家で、不思議なことに、そこの二階が、君の長年の住居であり、しかも、その兄妹と君とは、まるで肉親以上の親友だつたんだ……』

かういつて、大尉は當時の模樣から龍村の野心、原田等同僚の庇護――さうした詳細な事情まで擧げて、一方名譽ある犧牲者の遺族としての佐智子と、大尉自身との公けの交はりまで、すつかり二郎に語つて聞かせた。

『多分、君もこの前こちらへ來た時に、原田君などから詳しく聞いたらうと思ふが、まあざつと、そんな關係で、こんな話を俺の手元まで持ち込んでくる譯なんだ、俺も、あの婦人なら、君の女房としてよからうと思ふが、どうだい、君も、いゝ年齡だ、婚約ぐらゐはしておいてもいゝぢやないか』

大尉は、恬淡に笑つてみせた。

二郎も今度のやうに、大尉と自分、そして佐智子とを、こんなにも結んでしまつた運命の不思議さに驚いたが、

『いや、有難う……しかし、御覽の通り、僕も戰務に追されて、非戰鬪員とはいひながら、この大戰に身を賭してゐるんだ。明日の生命もわからない人間が、婚約などのしようがないぢやないか』

二郎は卑怯だと知りながらも、さう言つて逃げた。

『勿論、さうだが、人の生命は戰務にゐる者ばかりに限らず、誰しも明日は不知數さ。そこまで考へれば、將來の約束といふものは、總て成立たないことになる。それはそれとして、別に婚約ぐらゐはしておいてもいゝんぢやないか』

『さうはゆかない』

『何故……』

『君だつていつか、僕が……』

二郎は、相手の意見を打消すに急な餘り、嘗て自分が千鶴子をすゝめた時の、丸山の返答を思ひ出し、うつかり、口を滑らして、はつとしたが、同時に、

『はつはは、あの時のことか…』

大尉の笑ひ聲が、二郎には、耳をつんざく雷鳴の如く鳴り響いた。

『時にあのお從妹さんは、お達者か』

『あゝ、別に……』

二郎ははつとして、顏を上げたが、大尉の顏を正視することが出來なかつた。

大尉は依然、輕い微笑の眼で、暫く默つたまゝ二郎を見てゐた。そして、

『それでは、どうしても、この問題は、駄目か』

話題を再び佐智子の上に返したが、暫くすると、

『よろしい、それぢやこの話は止すとしよう……ところで、最後に、一つだけ訊かせてもらひたいことがある……』

大尉は改まつて、卓上に半身を乘り出した。

新刊紹介

▲新指導者(九月號)『思想戰と日本的性格』水野正次、『國民娛樂と文化政策』その他(四十錢、東京麴町三ノ六ノ二・精神科學研究所出版部)▲企業(九月號)『ソ聯の工業抗戰力』『企畫院の進路を檢討す』その他(八十錢・東京麴町內幸町一・東拓ビル・會計分析研究所)▲日本(九月號)『革新代議士正木清縱橫談』『靑年の新世界觀』吉田三郎、『藤島秀光氏に相撲道の鍊成を訊く』その他小說等(五十錢、東京・淀橋・角筈一ノ八五〇・大陸講談社)▲藝能文化(九月、文藝特輯號、五十錢、東京・豐島塀之內三〇、藝能文化協會)

九月一日抽籤 貯蓄債券當籤番號表 (其ノ四)

(番號表中太字ハ回別、括弧內ハ割增等級竝金額)

(大藏省・日本勸業銀行發表)

貯蓄債券								
貯蓄債券	84949	96183	3757	7425	12425	14754	18913	22412
	87408	98069	4226	8088	12846	15323	19271	23367
	88493	99054	4342	8178	12937	15510	19391	24180
	89653	(割增金ナキ分)	4402	8225	13102	15941	19447	24394
	90543		4588	8671	13466	16104	19549	24681
4	90552	168	4818	8975	13590	16582	19794	26138
	91102	478	4944	9248	13630	16592	21090	26517
	92301	610	5903	9770	13734	17238	21164	26555
(割增金ナキ分)	92481	722	6410	10678	13915	17544	21603	26696
	93316	1882	6635	11470	14112	17580	21928	27020
81223	94547	3132	7014	11891	14180	18052	22038	27463
81508	94939	3403	7157	12327	14205	18397	22108	27862

27870	35144	41265	48788	56021	66004	71857	78887	87766	94245	99906
27954	35155	41288	48858	56146	66026	71862	78890	87791	94298	
28539	35436	41385	48967	56803	66979	72393	78892	87862	94585	
29279	35642	41843	49171	57366	67194	72449	79546	87963	95220	
29374	36033	41871	49824	57400	67407	72487	79898	88185	95271	
30389	36240	42018	51615	58649	67533	72555	80225	88395	95540	
30418	36943	42879	51654	58976	67598	73272	80807	88807	95590	
30508	37008	43471	51743	59074	67608	73331	80945	88955	95738	
31173	37130	44151	51852	59275	67636	73780	80963	89474	96155	
32220	37734	44992	51884	59339	67849	74620	82375	89697	96411	
32843	37856	45033	51891	59408	68041	74765	82437	89983	96508	
33005	38003	45083	52076	59944	68443	74829	82692	90410	96968	
33044	38208	45714	52417	60651	68650	74843	84267	91249	97202	
33229	38363	45937	52686	61146	68658	74864	84326	91638	97726	
33441	38496	45994	53207	61349	68886	75044	84606	92086	98173	
33725	39114	46239	53711	61378	69027	75438	84965	92245	98323	
33730	39186	46277	54502	61736	69700	75864	85059	92361	98402	
33760	39644	46285	54962	62087	70303	75967	85446	92660	98584	
33828	39724	46404	55174	62256	70686	76618	85514	93064	98600	
33832	40211	47582	55176	63127	70825	76739	85859	93762	98726	
34587	40501	47743	55369	63736	71268	76847	86017	93841	98776	
34814	40675	47765	55615	65276	71284	77082	86620	94187	99104	
34854	40682	48023	55642	65492	71496	78198	87389	94240	99731	
34946	40953	48369	55691	65507	71767	78313	87458		99749	

6							
6	40335	2390	16874	30294	48377	64179	76958	90503
	41739	2663	16971	30642	48637	64483	77740	90759
	44909	2997	17292	30924	49598	64504	77913	91008
(壹千圓)	45563	5384	17864	31027	50051	65316	77999	91490
56204	48020	5426	18238	32169	50081	65928	79217	91701
(壹百圓)	56857	5971	20285	32680	50299	66128	79290	91721
20679	57289	7605	20465	33079	52252	66272	79742	92708
31295	60119	7660	20604	33243	55089	66422	80426	94548
96190	62067	8135	21101	33423	55339	66732	81270	94603
(拾圓)	62224	8142	21276	34456	55590	67081	83039	95213
10610	66304	8254	21614	35549	55809	67272	83090	95307
10666	68599	8509	21739	38314	56826	67480	84049	95602
14361	70800	9045	24530	39037	57502	68267	85253	96152
15773	73962	9793	24718	39867	58360	69522	85523	97130
16011	74657	10818	25023	40733	59309	69710	86648	97491
18150	79721	11663	25998	41910	59356	69846	86977	99740
18489	(割增金ナキ分)	11831	26030	42349	60157	69848	87016	
19252		12994	26212	43613	60730	71416	87649	
23113	192	14548	26407	43673	60796	71647	88318	
23312	197	14558	27714	44102	61195	71794	88732	
28046	454	15018	28961	45146	61606	72145	89168	
31624	655	15255	29244	47445	61886	74913	89731	
31880	1696	15867	29664	47793	63809	75924	90265	
38434	2338	16232	30065	48036	63865	76489	90285	

7								
7	55725	3504	17856	32214	46112	61763	73813	89191
	64236	4741	18169	32586	46878	63134	75690	89300
	69042	4942	18645	32743	47179	63202	75692	90242
(五百圓)	72911	5465	18807	33490	47405	63355	76399	90935
18122	75637	7653	18854	35267	47973	63469	76754	91876
(五拾圓)	76859	7732	18994	35297	49211	63626	76933	92341
4854	81120	7918	19398	36391	51272	63643	77235	92677
80991	82327	8119	21432	36564	52349	63962	77913	93619
84756	83040	8209	21613	36651	52592	64346	78521	94330
(五圓)	85260	9312	21627	36925	52714	65809	78754	94487
325	88703	9492	21631	37808	52807	66138	81493	94647
6240	92240	9505	22052	37887	54110	66215	82165	94872
13190	93504	9670	24755	38326	56604	66288	83811	95713
21779	96514	10578	25029	38384	56641	67848	83857	97035
22486	99649	11091	26318	38678	56698	68294	84002	99069
24061	99985	11122	26503	39566	57986	68349	84692	99435
25822	(割增金ナキ分)	11137	26634	39605	58017	68595	84818	
27001		12113	27636	40918	58100	68983	84924	
29224	19	13157	28400	42040	58841	69745	86140	
30289	219	13461	29121	42323	59171	70590	87231	(其ノ五へ續ク)
31321	426	13868	29421	43059	59179	70613	87382	
34635	830	14595	29942	43140	59391	70720	87702	
34907	1313	16251	30214	45797	60714	71359	88633	
35225	2086	16663	31379	45929	60814	72865	88994	

夕刊　京城日報

冀東共匪殲滅の新戰
わが精鋭一齊に進撃
農民大衆もあげて協力

【冀東戰線〇〇廿一日同盟】わが精鋭各部隊は豐潤、樂亭、遷安、盧龍四縣境山岳地帶に蟠踞を保つ晉察冀邊區第十二、十三廠の共産殘匪が冀東の三百萬民衆に赤化工作を續けてゐるので九月中旬これを徹底的に殲滅すべく新作戰の火蓋を切つた、すなはちわが〇〇部隊は古冶東北十キロの白雲山に蟠居する共匪に對し、またこれに呼應する各部隊も一齊に行動を起し各部隊とも着々戰果を擴大中である、一方この作戰と併行する建設作戰も農村大衆の協力の下に豐潤榛子鎭、沙河鎭間の自動車道路探水路などの完成に活躍してゐる

【冀東戰線〇〇廿一日同盟】皇軍の精鋭各部隊は蠢動を開始しつゝある晉察冀邊區第十二、十三廠の共匪に對し殲滅戰の火蓋を切つたが、今次作戰の注目すべき點は、大東亞戰爭の赫赫的勝利と相俟つて民衆が皇軍の眞意を理解し共匪の魔手より離脱すべく積極的にわが軍に協力しつゝあることで、冀東地區を無道と恃んでゐた共匪に大打撃を與へてゐる

燕京道殘匪肅清

【北京廿一日同盟】わが軍の燕京道各地における殘匪肅清討伐の八月中の綜合戰果左の如し

交戰回数四八、交戰敵兵力四、〇九五、遺棄死體一九五、俘虜七八、鹵獲品自動小銃八四〇、手榴彈三〇三、その他武器彈藥多數

京北地區綜合戰果

【張家口二十一日同盟】わが軍の八月中における京北地區の共産軍殲滅作戰綜合戰果左の如し

交戰回数三六一、交戰敵兵力七三〇〇、敵遺棄死體三五〇、俘虜一五〇、鹵獲品、小銃一一四、手榴彈一、〇五〇、その他武器彈藥多數

なほ政治工作員および幹部の歸順投降者續出し八月中において百五十名に上つてゐる

八月中、山西綜合戰果

【太原二十一日同盟】わが軍は山西省内に蟠居する共匪の剔抉に寧日なき激闘を續けてゐるが、八月中の綜合戰果次の如し

交戰回数二五二、敵交戰兵力二三、五八七、敵遺棄死體一、〇二九、捕虜七六二、鹵獲品、重輕機一六、小銃四一一、山砲六〇、手榴彈七一六、其の他各種彈藥、兵器構株など多數

山西旬間戰果

【太原二十一日同盟】わが精鋭部隊は數日共匪討伐を敢行敵の企圖する政治攻勢を、退しつゝあるが、九月一日より十日までに收めた綜合戰果は左の如くである

敵遺棄死體二二二、俘虜三四、鹵獲品、小銃五八、その他彈藥被服類など多數

伊驅逐艦擊沈

【ストックホルム二十一日同盟】イタリー通信オッタワ電によればカナダ海軍省は驅逐艦オッタワ號（一、三七五トン）が擊沈され、艦長以下將校、兵が行方不明である旨二十日公表した、擊沈の日時場所などは發表されてゐない

小倉侍從入城

滯鮮一ヶ月に亘つて
具さに民情視察

大東亞戰下一億總力征戰完遂に挺身翼賛する民衆の赤誠を普く御嘉悦あらせられた畏き邊りでは侍從小倉庫次氏を朝鮮に御差遣、戰時下朝鮮における銃後國民總力の狀況を全鮮にわたり約一ヶ月間視察せしめらるゝ御旨、御沙汰あらせられたが、聖旨を體した小倉侍從は廣瀨宮内省屬、岩淺事務官を帶同廿二日釜山上陸、總督府部文書、八木總務兩課長に出迎へられて來城、少憩ののち一路北上午後二時着〝あかつき〟で京城着、小磯總督、板垣軍司令官代理、田中總監以下各局部長、官房各課長、在城第一次所屬の長、李恒九李王職長官、中樞院顧問、千田京城府尹代理の出迎へをうけ直ちに總督府差廻しの自動車で宿舎朝鮮ホテルに入つた【寫眞＝京城驛着の小倉侍從】

暴動鎭壓に燒夷彈
英の對印暴虐暴露す

【リスボン廿一日同盟】ニューデリー來電によれば、英印軍副司令官アラン・ハートレー及び内務次官リチャード・トッテナムはそれぞれ廿一日目下開會中の印度上下兩院において反英暴動鎭壓に際し英軍は爆撃ならびに機銃掃射の如き殘虐な行爲に出たことはないと事實を隱蔽し極力辯解に努めたが不用意にもハートレーは上院において『爆彈を投下したことはないが燒夷彈を使用したことはある』と口を亡らし辯解の一端を暴露、新聞の辯解も功を奏せず却つて物議を買つた、上下兩院における辯明要旨左の通り

▲ハートレー（上院）レンド地方におけるフレ族の掃蕩戰で英軍はフレ族四十五名を射殺、五十名を絞刑に處し、また三十名を逮捕せしめたほか三千名のフレ族を逮捕した、目下同地方では戒嚴令を布き拔徒鎭壓に努めてゐたが掃蕩作戰は今なほつゞけられてゐる、さらにフレ族に對し英軍が高性能爆彈を使用したとの噂があるが、さういふ事實はない、もつとも同地方の數地區では暴徒鎭壓のため燒夷彈を使用したことはあるが、すでに二週間前のことであり、教會寺院などの宗教關係建築物はすべてそのまゝである

▲リチャード・トッテナム（下院）最近カルカッタで反英騷擾に參加中の印度民衆に對し機銃掃射を加へたとの報道があるがこれは誤りである、また同地では飛行機から燒夷彈、催涙彈その他如何なる種類の爆彈をも投下した事實はない、カルカッタで民衆が機銃掃射を受け死者百五十名負傷者多數を出したとの報道は虚僞である

反米運動激化
ベルファスト地方　暴動事件擴大

【ストックホルム廿日同盟】北部アイルランド共和軍の一靑年の處刑を契機として勃發したベルファスト地方の反英運動はその後一時的小康狀態を保つてゐたが、廿日當地に達したベルファスト電によれば十九日同地において米駐屯軍の歩哨兵一名が何者かに狙撃され戰死を遂げた事件が勃發した、米駐屯軍司令部は右事件の内容に一切沈默を守つてゐるが、同地一般の輿論が米軍の駐屯に強硬反對の態度を取つてゐる現狀から見て今回の射撃事件を契機として北アイルランド民衆の反米運動が激化するのではないかと想像され各方面の重大關心をひいてゐる

米新規海軍豫算要求

【ブエノスアイレス廿一日同盟】ワシントン來電によれば、米大統領ルーズベルトは廿一日議會に對し書翰を送り廿七億二千百萬弗の新規海軍豫算を要求した、新豫算は大東亞戰勃發以來アメリカの蒙つた艦艇、軍用船舶に海軍航空機の損失補填及増强艦船に該設船舶良の擴充費等に當てられるもので ある、なほそのうち約三分の一が海軍所屬航空關係の增强に當てられる事實は大東亞戰における海戰の結果に鑑みたものである

英、兩戰艦就役

【ストックホルム廿一日同盟】ロンドン來電＝ロイター通信海軍記者が英海軍當局から得た情報として傳へるところによれば、かねて建造中であつた英戰艦アンソンならびにハウの兩艦はこのほど完成を見すでに就役中といはれる、兩艦は排水量三萬四千トンの巨艦でキング・ジョージ五世ならびにデューク・オブ・ヨークの姉妹艦である

獨、ス市の大部を確保

【ベルリン特電】（廿一日發）スターリングラード市街戰は獨軍の猛攻につぐ猛攻の下に刻一刻最後の段階に近づきつゝあり、フッカー急降下爆撃機は建物の土台まで見事に吹飛ばした後にドイツ戰車隊歩兵隊が雪崩を打つて突進、手榴彈迫撃砲を敵陣目がけぶつとばし瞬く間にソ聯陣地の一角を占據するといふ文字通り死鬪につぐ死鬪が間斷なく兩軍間に隨所に繰返されてゐる、ドイツ軍部筋の發表によれば十五日以來のドイツ軍の猛攻によりス市南部地區の大部は既にドイツ軍の掌中に陷つたばかりでなく、ス市の中央にあつて繁華を誇る赤軍本部所謂赤軍宮殿も今や完全に粉碎されたといはれ、スターリン首相は全軍に再び激勵を發したがソ聯軍司令部は遂に南西北地區放棄の已むなき旨スターリンに報告したといはれる、戰鬪の中心は市の北方に移つたとは確實である、市の北部より反撃に出たソ聯新鋭部隊の牽制作戰はドイツ軍戰車部隊及び歩兵部隊の巧妙な戰術展開によつて次々捕捉殲滅され北方地區も愈よ全面的潰滅の危機に瀕してゐる、ソ聯軍はなほ工場勞働者及び一般市民が戰鬪に參加してゐるとが赤軍陣營の供述によつて明かとなつた

獨軍、テリヨク占領
北、西からグローズヌイ油田へ猛進撃

【ベルリン廿一日同盟】獨軍司令部は：獨軍がテリヨク河戰線においてテリヨクおよびウラジミロクスキの兩要衝を占領した旨廿一日發表した、テリヨクはカバルジー・バルカル自治共和國を東西に貫通するテリヨク河東岸に位しグローズヌイ油田はテリヨクより山路百廿キロの地點にあり、同油田地帶は今や北、西兩面より獨軍の脅威に曝されるに至つたわけである

【ベルリン廿一日同盟】獨軍司令部はテリヨク戰線の戰況につき廿一日次の如く補足發表した

獨戰車隊は二十日五時間にわたる激戰ののちテリヨク河東岸プロフラードヌイ、オルジアニキーゼ鐵道の要衝ブラギミロフスキチに突入、頑強なる赤軍の抵抗を排除して遂にこれを制壓したのち、さらに南進を續行、隨所に赤軍陣地を突破し、沼澤地帶を越えてテリヨク河東岸の要衝テリヨクに猛攻を加へこれを完全に占領した

生産擴充に邁進
官民渾然一體、總力發揮を望む
定例局長會議席上　小磯總督發言

廿二日の定例局長會議は午前九時から同十一時まで開かれたが席上小磯總督は鮮北視察中の感想を述べつゝ〝半島の位置とその包藏せる豐富かつ有力なる資源からみてこの際一段と生産擴充に邁進せねばならぬ〟と大要次の如く述べて半島官民の渾然一致による總力發揮を要望強調した

『大東亞戰爭を勝ち拔く爲には銃後のわれわれとして生産擴充に邁進する事が何より肝要である、殊に朝鮮のもつ地位と資源とにおいて半島官民は火の如き塊りとなつて生擴に邁進し征戰完遂に寄與せねばならない、生擴に邁進する心構へ如何といふに官民が一丸となることである即ち大衆をして明朗に業務に從事せしめることである、この爲にはまづ官吏が率先垂範しなければならぬ、その目的が苟くも生産擴充にあるならば規矩準繩に捉はれることなく民衆を指導するの心構へを持つことである先般鮮北を初度巡視した際各所で訓示したが、その要旨は常に上にある者と下にある者とが一本になれ、一本になる心持といふものは上の者の命令が正當で無理がなく監督が周密であることであり、その爲には修養と大きな感化力とを持つことである下の者は崇高なる犧牲心と忠實なる服從心が必要である、自分は永い軍隊生活からいつも斯く心がけかつ實行してゐる積りである、要するに上下一本となり官吏は率先垂範し大衆は明朗に業務に服することである、これなくして生産擴充は期し得ない上下が一塊の火となり一本となつて生擴に邁進されんことを希望してやまない』

なほ田中總監も祕書し東上中に打合せを了した電力統制、陸運、海運、大東亞省建設に伴ふ機構改革物價政策、生産擴充の諸問題に關し說明報告するところあつた

定例局長會議

定例局長會議における出席局部長の報告次の通り

鈴川司政局長　滿洲建國十周年祝典に參列した感想報告

上瀧殖産局長　多獅島築港狀況と新義州に開かれた全鮮工業者大會の狀況

宮本法務局長　徴兵制度の準備工作として戸籍整備と寄留制度の要綱細目に關しては本月十一日地方法院長會議を開いたまた十六日から四日間地方法院支廳の戸籍主任講習會を、廿三日には各地方法院で支廳判事會議を廿九日から三日間地方法院支廳で府邑面長及び戸籍主任を招集講習會を開く

丹下警務局長　銃後民心の動向として全北錦山の國民學校兒童の感想報告

新貝遞信局長　浮流機雷の掃海は八月末を以て一應打切つたが、九月に入り最初の二週間で卅三箇を發見するに至つたので近く再び掃海を開始する

森會計課長　本府第三別館は十月一杯を　て完成する

倉島情報課長　銃後民心啓發と生活指導のために半島銃後美術展を十一月三日から八日まで三越と丁子屋で開き、十一月中旬には府民館で音樂競演大會を開く

伊藤勅任事務官　滿洲の

經營と指導者達
安住康夫

新聞業道義昂揚運動といふのがある。××組合〇〇商店の人達が旗を押立てて朝鮮神宮の社頭に集り取引の淨潔、統制價格の遵守、公益優先の　等々戰時下經濟に必要な實踐項目を誓ひ合つたのがその皮切りである。そしてそれ以來この運動は繼續してゐるとになつてゐる。だがその後この業者達の神前の誓ひは果してどう實踐されてゐるのであらうか？商取引の淨潔といひ、統制價格の遵守といひ、公益優先の徹底といふ――これらは日本人である限り戰時下國民の義務として嚴格に履行されねばならぬことであらう。たかそれが若しも業者の中の一部によつてでも誠實に實行されてゐないとしたら？……彼等こそは神に偽り同胞を裏切り國威に逆ふ憎むべき國賊と云はねばならない。――だが公益を無視し法規を犯してまで儲けなければならぬ、或はさうすることが場合によつて止むを得ぬてゐるとしたら？……これは大きな問題である。經營と利益の關係、經營と犯罪の區別――これらの關係は今日の業者を指導する人々にとつて眞剣に追求しなければならぬ問題とならう。新聞業道德の昂揚は結構。『法を犯す勿れ』『人には親切にせよ』『心貧しくあれ』等々…誠に結構。しかし今日の指導者にとつて必要なことは如何にして業者を利益させるか――時代に即した經營方式を彼等へ指すことである。それは一枚五厘のポスターを作る程の簡單な問題ではない！それは大東亞共榮圈建設の基礎をなす根本的な重要問題でもあるのだ。――利益、利益、――そして利益は今日の時代においても國家繁榮の原動力たらしめねばならないのだ。指導者は現實の問題に眞正面から勇敢にぶつかつて行くことだ。業者と共に苦鬪することだ。上品ぶつてゐる必要はない。――かくしてこそ問題は徐々に解決されて行くことであらう。――（筆者は中央商工相談所主事）

香港復興の意義
共榮圈内物資交流の中繼地へ
磯谷總督と一問一答

【香港廿一日同盟】磯谷總督は廿一日邦人新聞記者團と會見、香港復興の諸問題について左のごとき一問一答を試みた

【問】香港の經濟復興の構想如何

【答】香港の將來の經濟的意義は主として大東亞共榮圈内の物資交流の中繼地たるにある、しかしこのことは大東亞戰後においてはじめて本格的な機能發揮を考へること出來るので現在としては困難な條件を伴つてゐる現在の問題としては中小工業の復興に重要性を認めてゐる、原料を輸入し製品として輸出することは資源を持たぬ香港の進むべき道である、原料獲得も多分に困難な事情にあるが、これは小工業者をして組合を結成せしめ總督部が原料講達の便宜を企てるつもりである、しかして組合では專ら原料手當のうへから結成させるもので販賣や利益配當に干渉しようとするものではない、統制に慣れてゐない華人業者に現在高度の統制を強ひるのは却つて弊害があると考へる

【問】今後邦人業者の香港への進出を奬勵するか

【答】事業の性質によつて無統制では奬勵は出來ないが、大體邦人業者の香港進出は餘地があると思つてゐる

【問】香港復興の政府的意義如何

【答】香港の復興が南支全體におよぼす影響力は甚大である、それ故にわれ／＼は力を盡して香港の復興のために努めてゐる

陸軍司政官同技師發令

【東京電話】

任陸軍司政官（三等）（各通）地方技師　加茂知榮　厚生技師　勝屋英夫　地方技師　松井薫

任陸軍司政官（四等）貿易局書記官　兼大藏書記官　木原秀雄

任陸軍技師（三等）（各通）白石代吉　安達文平

任陸軍技師（四等）（各通）合志武一　松下信雄　西本貞臣

村島鐵男

石田厚生局長

開拓訓練所に入所せしめる少年訓練生百四十名は本月卅日出發する

石田厚生局長　廿四日から四日間朝鮮神宮奉賛體育大會を京城運動場で開く

山澤農林局長　家畜防疫に關して鮮滿連絡會議を開いたが國境防疫に關しては完全に解決した

水田財務局長　戰時金融金庫は朝鮮では新設せず生産擴充資金は殖銀で、有價證券は鮮銀で取扱はしめる、このほか豫算折衝狀況に關して說明報告

總督府辭令（廿一日附）

▲慶北迎日郡清河面長李家正和以奏任官待遇▲城大助敎授井上繁依願免本官

朝鮮寄留令
閣議決定

【東京電話】二十二日の定例閣議において左の件を決定した

一、朝鮮寄留令制定制令の件

一、大東亞省設置及び行政簡素化實施のためにする興亞錬成所官制制定の件

一、大正十五年勅令第百五十一號地方官々制第二條の規定により增置する者の諸賃負擔に關する件制定の件

定例閣議

【東京電話】二十二日の定例閣議は午前十時より開かれ、東條首相以下全閣僚出席、安藤國務相より『來る廿六日から四日間第三回中央協力會議が開催されるが改組後の國民總常會たる同會議は大東亞戰爭完遂の輿論喚起の絶好の機會と考へてゐる、時局はます／＼長期戰態制に移行したので、政府としても中央協力會議を通じ長期戰持久の國民決意の昂揚のため最善の努力を拂はれたい』旨を强調特に各閣僚の協力を求め、湯澤内相、八田鐵相、井野農相より二十一日山陰、四國、近畿、金澤などに起つた暴風雨による災害が極めて輕微であつた旨を報告、東條兼陸相より靖國神社臨時大祭に關して說明があり同十一時四十五分散會した

道府縣行政簡素化
總務、學務部廢止決定

【東京電話】内務省では八月廿一日の閣議で決定した道府縣行政簡素化の實施期を十月一日に控へて愼意諸般の準備を進めてゐるが、今回の簡素化の重點は總務部と學務部を廢止して全國道府縣を通じ新たに内政部を創設し併せて知事官房長を新設するほか、十縣の經濟部および三縣の土木部を廢止するものであり、このほど右廢止を決定したので廿一日左の如く發表した、なほ經濟部廢止の十縣はその事務を内政部に移管するからこゝにおいては内政、警察の二部制となるわけである

一、經濟部を廢止せらるゝもの山梨縣、福井縣、奈良縣、滋賀縣、鳥取縣、高知縣、德島縣、佐賀縣、宮崎縣、沖繩縣

一、土木部を廢止せらるゝもの富山縣、岐阜縣、熊本縣

ラ佛首相、諸外國使臣と會見

【ビシー廿一日同盟】ラバール首相は二十一日わが三谷大使をはじめ米代理大使タック、イタリー總領事ツオッピ伯、ハンガリー公使ベッセネイ男と順次會談した、ラバール首相は右に先立ち十九日ドイツ代表クルーグラオン・ニッダ總領事と長時間に亘り會談を遂げてゐるが、ビシー外交界とみに多事をつげつゝあるとの印象が深い、ラバール首相折衝の内容に付ては容易に外界の窺知を許さぬがたゞ一事判明してゐるのは先にラバール首相が十八歳乃至五十歳のフランス勞働者徴用およびフランス勞働力による對獨援助の方針を決定したのに對し、米國政府が反對を表明し、そのほか事實フランスの現政府に干渉しつゝあることである、最近ます／＼露骨となり、十九日および廿日パリにおける爆彈事件その他の騷擾事件につき事實の有無を問はず惡質な宣傳に出てゐるが、ラバール首相はかゝる困難な事態が特に米國の壓迫にかかはらず斷乎既定方針を堅持すべく諸外國代表と多角的に接觸してその態度を闡明したものと思はれる

ラングーン市
來る二十六日開廳式

【ラングーン二十一日同盟】わが軍政監部ならびに中央行政機關ではかねてよりラングーン市政の施行を準備中であつたが、いよ／＼來る廿六日から實施することになり、同日市廳舎で開廳式が舉行される、また初代市長は元ラングーン大學法律學教授ウ・セット氏に決定、事務局長はウ・キン・モン・イン氏が起用され、來る廿五日軍政最高指揮官より正式に任命されることになつた

＝人＝

◇山本虎一氏（機械化國防協會朝鮮本部總務課長）廿一日新任挨拶のため本社來訪

◇佐藤八重五郎大佐（日婦朝鮮本部常務理事）廿日新任挨拶のため本社來訪

時の錄音

我卅ケ師に殲滅的打撃。浙贛作戰五ケ月の綜合戰果燦々たり

×

歐洲戰線の華やかさに隱れたこの作戰の意義を見逃してはなるまい。

×

洪水と酷暑の悪條件に、しかもこの大戰果。まこと、感謝感激のほかなし。

×

けふ軍神加藤少將の陸軍葬。改めて空の偉業を讃仰す。

×

勲功に續く英靈に祈る。また先輩の衣鉢を繼ぐべし。

×

秋季皇靈祭、靖國臨時大祭近づく、秋愈よ深く、體力錬成の絶好機だ。

×

感謝と慚愧を感じ、體も心も。

大伽藍址を發掘 甦る"一千四百年前"

絢爛"百濟文化"の粹

【扶餘電話】千四百年前の文化、内鮮一體の歴史の謎を解く扶餘扶蘇山の城址發掘作業は八月三十日以來總督府博物館の藤澤、米田、天野三氏監督のもとに愼重に繼續されてゐるが今日まで發見された塑造佛像などをはじめ大伽藍の殿堂趾や風鐸の吊り金具と覺しき鍍金製金具その他瓦類の無數の出土などを綜合する時古代大伽藍址なること瞭然たるものあり、發掘箇所は正しく百濟文化の中核をなしてゐることが確定された、發掘された大伽藍址は本堂の東西行四十四尺五寸、南北五十五尺一寸で天然岩石地盤に北、南西三方には門の礎石が刻み込まれ正南の馬川池に面してゐる實に風光明媚な勝地であるかつ出土された佛像は石製で石製の象も發見された點から推して普賢菩薩ではないかと見られてゐる、なほ博物館扶餘分館杉館長は語る

★ ★ ★

發掘箇所は正に大伽藍址であることが確定しました、いろいろの考察から本尊は普賢菩薩であることが推測されるが、この菩薩は文殊とともに釋迦佛に侍り説法を補くる菩薩であつて特に慈悲の徳を表せんがために白象に騎つたのであります、法華三昧の時の本尊でありますから誠に貴重な資料で今後の發掘とともに一段と佛教を通ずる内鮮文化の基礎が究明出來ることと思ひます

【寫眞＝大伽藍址の發掘作業】

軍人援護運動 文士も協力

【東京電話】十月三日から八日まで全國に展開される軍人援護強化運動に文士も一役買つてお役に立たうと日本文學報國會では東京はじめ各地の軍事後援講演會に女流作家まで街頭に動員して日ごろ持ち馴れたペンを舌に換へて大いに軍事援護思想の普及徹底に乘り出すこととなつた、文報主催の『軍事援護講演會』は情報局、軍事保護院、軍人援護會その他の後援を得て十月三日の廣島を皮切りに五日福岡、仙台、八日東京、九日金澤の各地で開催するが派遣作家は(福岡、廣島)中村武羅夫、舟橋聖一(金澤)福永恭助、岩倉政治(仙台)大下宇陀兒、戸川貞雄の六氏で移動演劇隊もこれに參加して金子洋文氏作の援護劇(三幕もの)を上演する

躍如"大村益次郎"

倉茂報道部長の國民劇評

徴兵實施を近くにひかへ全鮮が擧げてその準備に邁進しつゝある折柄日本劇團の巨星市川猿之助氏がわが兵役令の祖大村益次郎を劇化した國民劇『大村益次郎』を携へて朝鮮に來演したことは意義の深いものがある、廿一日京城府民館にこの初日公演を觀覽した倉茂朝鮮軍報道部長はその感想を次の如く語つた

大村益次郎先生の殉國の精神換言すれば滅私奉公の至誠には胸を打たれた、維新がまだ胎動中であり國民の意思の混沌たる時代にあつて早くも帝國百年の將來を洞察して刺客の兇刃に斃れつゝも徴兵斷行の急務を絶叫し續けた我等の偉大なる先覺者大村益次郎先生の面目が市川猿之助氏の非凡なる演技によつて躍如として舞台に描き出されてゐた、この劇は單に我國の兵役令の生立を知らしめるばかりでなく、眞の滅私奉公の至誠が如何に國家に寄與するものであるかを教へる點において國民演劇としての使命を完全に果してゐる徴兵制は今日の朝鮮にとつて現實の問題である、この演劇が朝鮮における兵役令實施に貢献するところは種々な意味で決して少くないと思ふ

"眠る戰友の英靈に 告げし躍進滿洲國"

日露の老將戰跡視察談

滿洲建國十周年祝典に參列を兼ね思ひ出の戰跡をたづねて往時の感懷をしのび、この躍進滿洲國の姿にある日露役の老將柴山重一陸軍中將ら一行九名(中二名歸國)は二十二日午前十一時十分京城驛着列車で入城、直ちに朝鮮神宮に參拜して宿舍朝鮮ホテルに入つたが驛頭で柴山中將は次の如く語る【寫眞＝京城驛着の一行】

十年振りに見る滿洲の發展にただ驚くばかりだ、日程は餘りなかつたので驅け足で旅順、錦州、遼陽、奉天等の戰跡地を巡拜し亡き戰友に對面し滿洲の今日の發展振りを報告して冥福を祈つた、朝鮮を通るのも十年來のことだが、やはり素晴らしい發展だ、汽車の中から見る道路を見てもそれが判る、日露役當時私は第一軍に屬し鎭南浦に上陸し鴨綠江に上つたのだが、四月の解氷期と道路補修が出來てゐないためその苦勞は言語に絶するものがあつた

一行は午後一時朝鮮軍司令部に板垣軍司令官を訪問したが曾て板垣軍司令官は中隊長だつた仙台聯隊當時の聯隊長柴山中將に對面し舊交を溫めた、引續き一行は總督府を訪れ午後六時から總督官邸に催される小磯總督の招待晩餐會に出席二十三日午後十一時十分京城發列車で歸國する

日婦會歌作曲成る

【東京電話】大日本婦人會では二千萬會員が愛誦する歌としてかねて公募制定した會歌の作曲を中堅作曲家に依賴、コンクールの結果東京音樂學校教授橋本國彦氏が入選したので廿三日午後二時から同會で部内發表會を催すことになつた、當日同會總裁東久邇宮聰子妃殿下の台臨を仰ぎ川西理事長、東京支部長徳川彰子夫人以下關係者百五十名が列席するが、曲は旺盛な軍擴推進なもので十月初旬帝都はじめ六大都市で一般發表會を催すほか、業者約十萬枚を作成、全國支部をはじめ女學校、女子專門學校などに配布する豫定である

鑛山戰士慰靈祭

【東京電話】支那事變以來増産戰線に仆くも散つた全國鑛山戰士五百五十九名の慰靈祭が鑛山監督局開廳五十周年記念日をトし廿二日午前十時から軍人會館で東京鑛山監督局司祭の下に嚴肅に執行され來賓側岸間相代理鑛山局松田總務課長、厚生大臣代理持永勞働局長ら、遺族側代表古河鑛業小野田事務氏高橋スエさんら五十八名、鑛山側從業員側代表約三百餘名出席 定刻東京鑛山監督局長宮田忠雄氏の式辭が述べられ修祓、獻饌、祝詞の奏上ならびに玉串奉奠あつて同十一時式を終了した

再整理の廿萬世帶

寄留制度實施近づく

昭和十九年を期し實施をみる徴兵制に併行して準備中の『朝鮮寄留制度』も十月中旬に實施の段階に至つたが同令は朝鮮寄留令、同手續規則、及び同手續細則の三本建によつて構成せられ戸籍に登記された者の現實の動きが明かにされるものである、來る廿九日から三日間京城府民館に開催される『寄留制度實施と戸籍整備に關する會』には京城地方法院管内府、邑、面戸籍主任百五十名が出席法令の實際的取扱ひについて研究が續けられる、百萬府民の台所を與る京城府では戸籍課を動員劃期的な新法令に基づき膨滿台帳の整理を行ふことゝなるがなんといつても廿萬世帶からの寄留屆者が殺到すれば大へんなもので全面的に台帳整理に當る係員の手數も豫想以上のものがあり、本町を初め府内各出張所において屆出を受付けることゝなるが各町愛國班を動員班長の下に取纏め町會を通じて屆出る方法をとり、一般屆出人も新規則の示すところに從ひ本籍地、現住地、生年月日等に間違ひや不正確を招かぬやう充分な注意が望まれるわけである

建國功勞者 慰靈祭執行

【東京電話】匪賊討伐、ソ滿國境警備、熱河挺進九路軍討伐などに建國の礎石となつて散つた日系軍官民二百十九柱の慰靈祭が滿洲國治安部の司祭で藤井重郎中將未亡人きよさん他遺族約百名、來賓に本庄繁大將、軍人援護會理事長館哲二、大日本飛行協會副會長塚夫、李滿洲國大使ほか十數名、士官學校在學日滿兩國生徒約三百名が參列廿二日午前八時四十分から小石川の滿洲國學生會館で神式により嚴かに執行された、修祓、降神獻饌について治安部大臣代理郭浩霖少將、滿洲國軍最高顧問代理大木良枝大佐の祭文朗讀、遺族代表藤井きよさん、寺田綾鹿さん(元

トラックに轢かれて即死

廿一日午後三時十五分頃京城黄金町二丁目電車交叉點で黄金町六丁目方面から疾走して來た京城トラック所有貨物自動車京七一三六號＝運轉手林敏夫(二七)＝と同方向から併行して進行中の京城本町三丁目鈴木樂器店員京城漢上町一六三西原槇洙(一七)の自轉車と衝突、西原はトラックに頭蓋骨を粉碎されて即死した

趙銘夏氏

漢城銀行南大門支店長趙銘夏氏は二十一日午前七時社稷町一四四番地の自宅にて死去、享年五十、告別式は二十五日午前八時黄金町六丁目京城府民會場に於て執行

鹽輸送に關する打合會議

生活の必需物資である鹽の需要期を前に專賣局では先づ輸送の円滑化を圖らうと廿二日本局講堂で朱安、貴城、廣梁灣、南市、鎭南浦、群山、仁川等の各地鹽生産地の出張所、輸送事務擔當者を集め鹽輸送に關する打合會議を開催する

ウイルキー モロトフ氏と會見

【モスコー二十一日同盟】ルーズベルト特使ウイルキーは二十一日午後三時モロトフ外務人民委員と會見、殊にソ問題に關し種々ソ聯を慰撫激勵した、引續き一兩日中にスターリン議長とも會見してルーズベルトの親書を手交するはずであるが、ソ聯訪問の使命を果した上は重慶に飛び蔣介石と會談する豫定といはれる

山陰線で機關車脱線

【大阪電話】大阪鐵道局午後二時發表＝廿一日午後一時二十分ごろ下關發京都ゆきのぼり一二〇列車(六輛連結)が山陰線番住間にさしかゝつた際、土砂崩壞のため機關車が脱線したが、幸に負傷者なし、直ちに係員が出張補修に努めてゐるが、復舊時刻は目下のところ未定である

北陸線一部不通

【名古屋電話】二十一日午後五時頃北陸線大聖寺、牛ノ谷間において地盤軟弱なる箇所を生じ不通となり旅客列車は上下とも大聖寺、牛ノ谷兩驛から折返し運轉を行ひ目下復舊を急いでゐる

關急中川線も

【名古屋電話】廿一日午後七時頃關急名古屋、中川線の黝濁、白子間においてトロリー線斷線のため不通となり名古屋、關濱間は折返し運轉を行つてゐるが目下努力中

けふの市況

株式 賣飽き氣味 硬化

前場 最重點株の買氣擡頭とゝもに滿鮮主力株も値段の下避り商狀から漸く賣飽き氣味となり、短期新東十錢高の百二十八円九十錢の寄付きを安値にあと九円三十錢と引締め、高周波三十錢高の四十九円二十錢に寄付き、あと九円三十錢と一歩引締め、新鐘は戻り賣人氣強く九十九円丁から八円九十錢と引弛んで前日より四十錢安を示した、人氣はいづれかといへば硬化模樣で突込み賣りは警戒氣味であつた

後場 (變らず)突込みは警戒されてゐるが、戻りは買物續かず主力新東をはじめ十錢内外の區々を示した

＝實物＝強調

時局重點株の再活躍とゝもに物色買ひ更に擴大し全般的に強調を示した、現状から推す限り目先特殊な事情が起らぬ限り循環物色買ひなほ持續されよう、主なる出來値左の如し

商銀一新四三、七▲朝鮮水力八〇、〇一三、四▲同新三三、八▲高周波四九、〇▲日本マグネ四九、〇▲朝鮮理研三一、〇▲東洋輕金屬四二、八▲證券金融四七、〇▲朝鮮無煙炭新三三、七▲朝鮮九、〇▲岩村四〇、〇▲南鮮電新二七、三▲石川島二新四三、〇▲川南工業一二六、三▲三菱重工新八六、五▲日本鑛業五六、〇▲日曹鑛業一四、五▲日鐵新二〇、〇▲樺太油五九、五▲ヂイゼル自工八三、七▲日本電力七八、〇▲東洋ベアリング新六一、七

＝生糸＝釘付け

【横濱電話】環境の全く保合方々場面は依然たる無活氣を續け別段新しい手口なく、各限とも釘付商狀に推移し先限も十五円卅九錢に昨後場同事と變らなかつた

株式(廿二日) 朝取短期 / 東株新期 / 大株短期 / 現株仲値(廿二日)

京日特選 高段者勝拔戰

第十二回(譜は前局三一號迄)
先 五段△藤川義夫
五段▲北楯修哉
持時間各六時間 消費時間累計(▲三〇、△四五)

△3三玉 ▲4三金 △3四玉 ▲5三角ナル △4五玉 ▲4七金 △9七歩ナル ▲同桂

木村名人講評

後手三三玉からは自玉を死地に投じ、最後に九七歩成を頼んでの決戰だが事こゝに至つては即詰みもない。先手五三角成、四七金は、自玉に即詰みなしと見極めての斷行で勝將棋の場合にかうした危險を冒すことは餘程の勇氣を要する。九七同桂も最善の應手である。

三國志 (913)

赤壁の卷 吉川英治(作) 矢野橋村(繪)

次男曹彰(三)

徐晃のしたまづい戰は、すべて王平の罪に嫁された。曹操は憤懣に陣を重ね、再度、漢水を前に重厚な陣を布いた。

一水を隔てゝ、玄徳は孔明と共に、終日そのうごきを眺めてゐた。

孔明が云ふ。

『この上流に、七丘を繞らして一山を成してゐる山地があります。蓮華の如く、七丘の内は盆地で、よく多數の兵を隱すことができる。こゝに五百を埋伏させておけば、あれへ兵ず後に奇功を奏しませう』

『誰をやればよいか』

『萬一、敵に見つかると、一兵のこらず、殲滅の憂目にあふ惧れもあれば、やはり趙雲をやるしかありますまい』

次の日、孔明は又、べつな一峰へ登つて、魏の陣勢をながめてゐた。この日、魏の一部隊は、渡渉して來て罵りに、矢を放ち、亂を

たゝき、罵詈を浴びせたが、蜀は一兵も出さなかつた。

魏兵も、より以上、攻め寄せは出しなかつた。夜に入ると悉く陣に收まり、篝火も幽かに、自重してゐた。

すると突然、眞夜半の靜寂を破つて、一發の石砲がとゞろいた。銅鑼、鼓、喊聲などを一つにして、わあッといふ聲が一瞬天地を翔け去つた。

『すはツ、夜襲だぞ』

『いや、敵は見えぬ』

『近くもなし、遠くもない?』

上を下への騷動である。曹操は安からぬ思ひを抱いて、四方の闇を見まはしてゐたが、彼にも何の發見もなかつた。

『徒らに騷ぐをやめよ。立騷ぐ兵共を眠らせろ』

曹操も枕についたが、又復、鼓聲がする、鬨の聲がする、それが一晩、どこでするものか、見當がつかなかつた。

三日のあひだ、毎晩である。曹操は士卒がみな睡不足になつた容子を諸の彼等の顏に見て、

『これはいかん』

急に、三十里ほど退いて、曠野のたゞ中に、陣を營み直した。

孔明は笑つて、

『曹操も怪にとり憑かれた』

といつた。夜來の砲響や銅鑼は、もちろん上流の盆地にひそんだ趙雲軍の仕業であつたことはいふまでもない。

四日目の夜が明けてみると、蜀の軍は、その先鋒から中軍もみな河を渡り、漢水をうしろに取つて陣容を展開してゐた。

『なに。背水の陣を取つたと』

曹操は、驚ひもし、かつ敵の決意のたゞならぬものあるを覺つて、今は、乾坤一擲、蜀、魏の雌雄をこゝに決せんものと、

『明日、五界山の前にて會はん』

と、玄徳へ戰書を送つた。

玄徳もこゝろよく承知した。

戰書、すなはち決戰狀である。

次の日、曹操軍の威風をあらゆる軍樂と旌旗に誇示しながら、蜀は前進した。

忽ち、旌旗金鼓の燃ゆるごとき魏の王旗を中心に、龍鳳の旗を立て列ね、一鼓六足、堂々とあなたから迫つて來るもの――といふ迄もなく魏の大軍だつた。

『玄徳。あるや』

鞭をあげて曹操が馬上から、さしまねいてゐる。蜀の陣から玄徳は、劉封、孟達の二人を左右に從へて、駒をすゝめた。

『久しや曹操。君はむなしく、今日を以て、死なんとするのか』

曹操は怒つて云ひ返した。

『だまれ。余は汝の忘恩を責め、逆賊をたゞしに來たのだ』

『この玄徳は、大漢の宗親。笑ふべし、汝何者ぞ。みだりに天子の位を窺す曲者、けふこそ大逆を懲しめん』

戰線數里にわたる大野戰はこゝに展開された。午の刻過ぎまで、魏の大軍を以て終始した。蜀の兵は、馬、ものゝ具を捨てゝわれ勝に潰走し出した。

『追ふな、追亂打て』

曹操は急に、軍を收めた。なぜかと、魏の諸將は疑つたが、曹操は、蜀兵の潰走がほんとでないとみたので、大事をとつたものだつた。

ところが、魏が軍を退くと、果然、蜀は攻勢に轉じて來た。どうも爭々に、曹操は、自分の智謀と戰つてその智に敗れてゐるかたちだつた。